

平成 30 年度

岸和田市廃棄物統計書

市民環境部 環境課

目 次

1 概況

- (1) 地勢…………… P. 1
- (2) 人口・世帯数の推移…………… P. 2

2 環境行政

- (1) 機構…………… P. 3
- (2) 関連条例…………… P. 3
- (3) 業務内容…………… P. 3

3 一般廃棄物

(1) 概要

- ア 沿革…………… P. 4
- イ 事業年表…………… P. 6
- ウ 収集処理経費…………… P. 7
- エ 一般廃棄物の排出量…………… P. 8

(2) 一般廃棄物の収集と処理

ア 一般家庭ごみ

- (ア) 普通ごみ…………… P. 9
- (イ) 空きビン・空きカン・ペットボトル…………… P. 10
- (ウ) プラスチック製容器包装…………… P. 11
- (エ) ペットボトル…………… P. 12
- (オ) 紙パック…………… P. 13
- (カ) 廃食用油…………… P. 14
- (キ) 粗大ごみ…………… P. 16
- (ク) 埋立ごみ…………… P. 19
- (ケ) 小さな金属類…………… P. 20
- (コ) 廃蛍光管…………… P. 21
- (サ) 廃乾電池…………… P. 22
- (シ) 集団回収…………… P. 23

イ 事業系ごみ…………… P. 25

ウ リサイクル事業

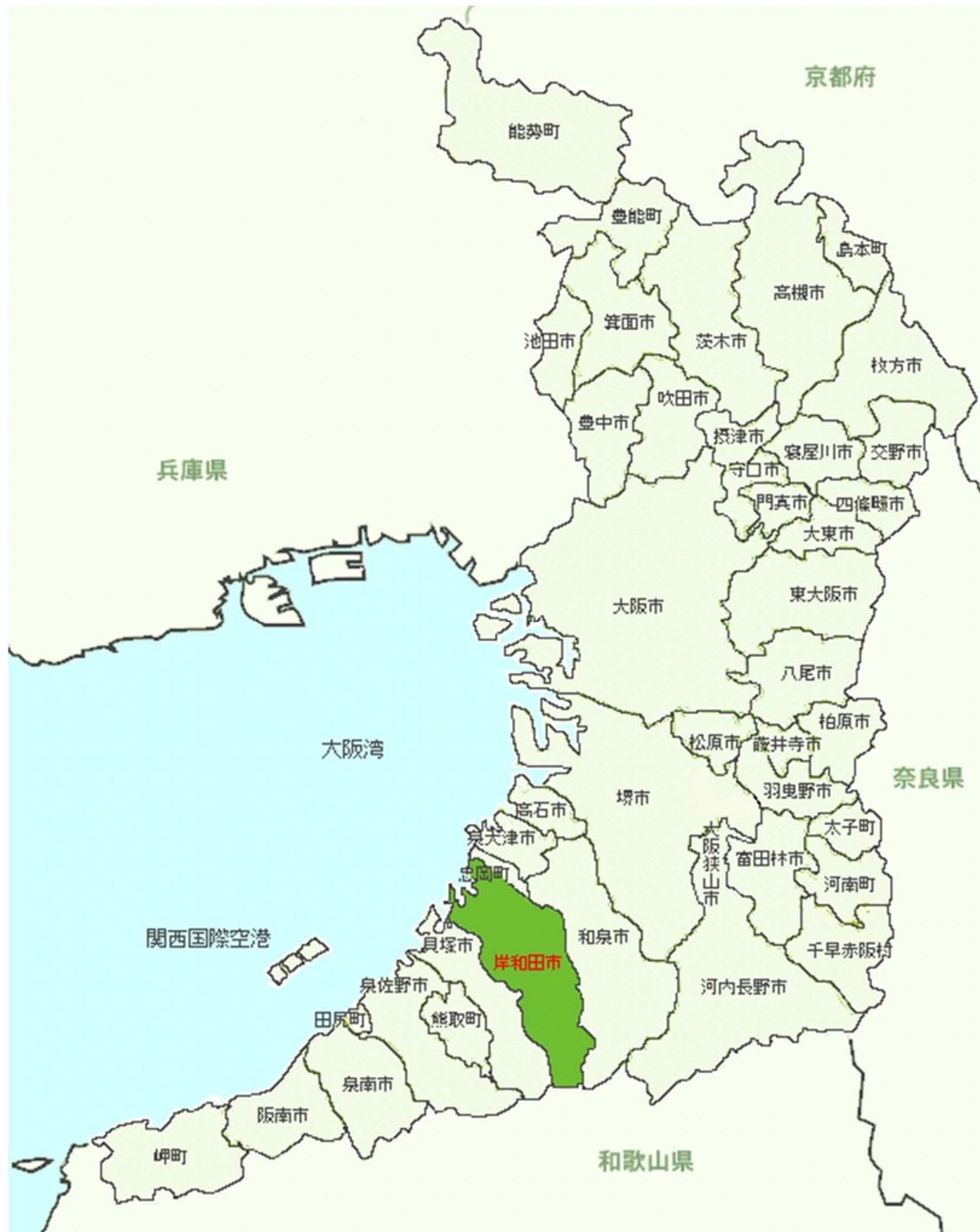
- (ア) リサイクルボードの管理事業…………… P. 26
- (イ) リユース品（再利用品）無償譲渡会…………… P. 26
- (ウ) 家庭用生ごみ処理機器購入補助金制度…………… P. 27

エ	美化活動	P. 28
オ	家電4品目	P. 28
カ	不法投棄	P. 29
キ	胞衣・汚物収集運搬	P. 32
ク	一般廃棄物（し尿）処理事業	
	（ア）概要	P. 33
	（イ）し尿の収集運搬、処理	P. 34
	（ウ）天の川浄苑におけるし尿及び浄化槽汚泥処理工程	P. 34
	（3）ごみの分別及び資源化	
	ア ごみの分別収集・回収状況	P. 35
	イ 資源物の行き先	P. 36
	（4）年度による対比	P. 37
4	害虫駆除	
	（1）害虫駆除薬散布器材の貸出	P. 38
	（2）害虫駆除の問い合わせ	P. 38
	（3）ゴキブリ・ねずみ駆除薬配布	P. 38
5	環境教育の推進	
	（1）環境フェア	P. 39
	（2）岸和田・貝塚3Rふれあいフェア	P. 39
	（3）出前講座	P. 40
6	市民の環境活動等	
	（1）まちを美しくする市民運動推進協議会	P. 41
	（2）岸和田市廃棄物減量等推進員	P. 43
	（3）違法屋外広告物追放登録員	P. 44
7	その他資料	
	ごみの流れ	P. 45
	ごみ処理フロー図	P. 46

1 概況

(1) 地勢

岸和田市は、大阪市と和歌山市のほぼ中間に位置し、大阪都心から約 20km、関西国際空港から約 10km の距離にあり、市域の面積は 72.55 ㎢、東西約 7.6km、南北約 17.3km の細長い地形で、おおむね臨海部・平地部・丘陵部・山地部に区分されています。丘陵部から山地部にかけては豊かな自然が残り、岸和田市の特色の一つになっています。

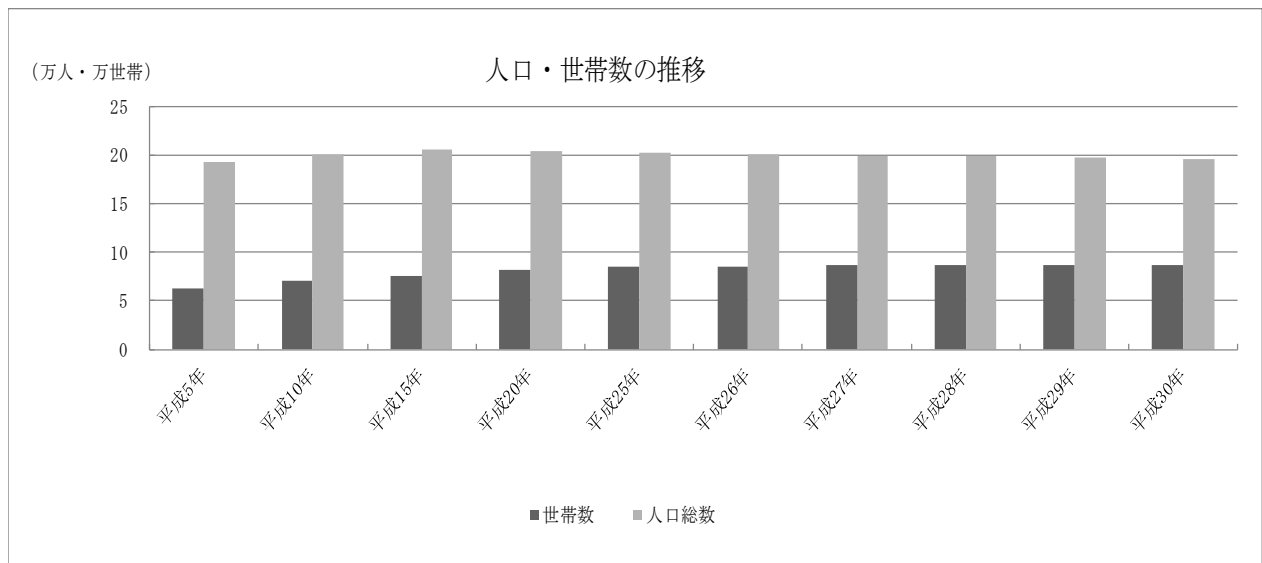


(2) 人口・世帯数の推移

(10月1日現在)

年次	世帯数	人 口 (単位：人)		
		男	女	人口総数
平成 5 年	63,123	93,879	98,798	192,677
平成 10 年	69,864	97,478	102,665	200,143
平成 15 年	76,070	99,141	105,274	204,415
平成 20 年	81,099	98,531	105,452	203,983
平成 25 年	84,623	96,749	104,402	201,151
平成 26 年	85,293	96,408	103,950	200,358
平成 27 年	85,933	95,955	103,461	199,416
平成 28 年	86,305	95,227	102,915	198,142
平成 29 年	86,787	94,697	102,445	197,142
平成 30 年	87,093	93,933	101,706	195,639

資料：市民課



2 環境行政

(1) 機構

市民環境部 ———— 環境課

環境政策担当、事業所指導担当

土砂・自然環境担当

生活環境担当、収集業務担当、粗大ごみ担当

地域美化担当、減量推進担当、排出指導担当

(2) 関連条例

ア 岸和田市廃棄物の減量化及び適正処理に関する条例

本条例は、廃棄物の発生を抑制し、再利用を促進するとともに廃棄物を適正に処理することにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図り、市民の健康で快適な生活を確保することを目的に制定されています。

本条例には次の内容が定められています。

市長・市民・事業者の責務、発生抑制と減量義務、多量排出事業者の指導、一般廃棄物の処理に関する内容、清潔の保持、廃棄物減量等推進審議会に関することなど。

イ その他の条例

・岸和田市天の川浄苑設置及び管理条例

(3) 業務内容

■環境課

- (1) 環境保全政策に関すること。
- (2) 環境保全に係る企画調整及び調査研究に関すること。
- (3) 環境保全の啓発及び普及に関すること。
- (4) 環境アセスメントに関すること。
- (5) 環境保全活動ボランティアの育成に関すること。
- (6) 公害の防止及び対策に関すること。
- (7) 工場及び事業所への指導に関すること。
- (8) 自然環境の保全及び再生に関すること。
- (9) 特定化学物質の排出量等の把握等に関すること。
- (10) 浄化槽の設置等の届出の受理その他浄化槽法に基づく事務のうち、大阪府から委任を受けたものに関すること。
- (11) 地球温暖化防止の普及及び啓発に関すること。
- (12) 新エネルギー及び省エネルギーの普及及び啓発に関すること。
- (13) 一般廃棄物の収集及び運搬に関すること。
- (14) 一般廃棄物処理業者に関すること。
- (15) ごみの排出、分別、減量化及び再生の啓発及び指導に関すること。
- (16) 不法投棄の防止及びこれに係る関係機関との連絡調整に関すること。
- (17) 再生資源の回収に関すること。
- (18) ごみのリサイクルに関すること。
- (19) 美化活動に関すること。
- (20) 違法屋外広告物の撤去に関すること。
- (21) ねずみ及び衛生害虫の駆除に関すること。
- (22) 感染症の消毒に関すること。
- (23) 胞衣汚物及び死獣の処理に関すること。
- (24) し尿くみ取りの助成認定に関すること。
- (25) 岸和田市天の川浄苑の管理に関すること。
- (26) 岸和田市貝塚市清掃施設組合との連絡調整に関すること。
- (27) 岸和田市環境審議会に関すること。
- (28) 岸和田市環境評価専門委員会に関すること。
- (29) 岸和田市廃棄物減量等推進審議会に関すること。

3 一般廃棄物

(1) 概要

ア 沿革

汚物を生活圏から排除する時代

ごみは、人間が生活する中で必ず発生する物であり、ごみ処理も太古の時代からあったと考えられます。

江戸時代になり、人口集中が進む所では、ごみも集中し、また、経済発展にともなう生活レベルの向上により大量のごみが発生しました。

江戸でも、その処理には相当手を焼いていたようです。「会所」と呼ばれる各町共通の空き地にごみを捨て、これを集めて船で東京湾へ運び埋め立てられていました。この時代のごみ処理は、ごみを生活圏から排除することでした。

汚物を焼却する時代へ

明治中期にペストが大流行したため、汚物処理が重視され、明治33年には、「汚物掃除法」が制定され焼却が推奨されました。

戦前、岸和田市の清掃は防疫を主として、衛生組合を設立し管理運営されていました。

昭和7年に岸和田市に焼却場が建設され（現中央体育館）、日常的な岸和田市のごみ収集は、焼却場及び市庁舎周辺を戸別収集し、焼却場へ箱車にのせて運んでいたのです。

昭和39年には、流木町に処理能力1日あたり60tの「岸和田市塵芥焼却場」が建設され、旧焼却場が廃止されました。しかし、60tの焼却量ではすぐに能力不足となり、焼却できない残ごみは、埋立てや現流木墓苑に野積みにする処置がとられました。

昭和44年、岸和田市と貝塚市の一部事務組合による「岸和田市貝塚市清掃工場」が建設され、1日450tのごみを焼却できる能力を備えた清掃工場が竣工し、操業を開始しました。

また、昭和42年から戸別に収集していたごみをステーション方式へと切り替え、野田町と中町でモデル地域を指定し、市民の協力を得ながら、昭和48年には全市域ステーション方式へと移行し、同時に家庭ごみの週2回収集（祝日含む）が実施されるようになりました。

ごみ減量化に向けて

ごみ量の増大に伴い、廃棄物処理の問題が大きくクローズアップされ、平成3年「再生資源の利用の促進に関する法律」が制定され、廃棄物の再利用の促進やリサイクルシステムの構築の大切さが強調されるようになりました。

本市においても、平成2年より、ごみの減量化、資源化に向け、資源ごみ（空きビン・空きカン）の分別収集、廃乾電池の専用回収ボックスの設置（60ヶ所）を実施しました。平成3年4月から古紙等集団回収（103団体）とコンポストの無償貸与（300基）を実施し、また、9月より牛乳パックの回収ボックスの設置（13ヶ所）を実施しました。平成4年6月より廃食用油の回収を実施しました。

循環型社会を推進するため、平成5年に環境部リサイクル課を設置し、ごみの減量化、再資源化に向けての啓発事業を進めてきました。11月に「廃棄物減量等推進審議会」を設置し、翌年1月に「廃棄物減量等推進員」制度を発足させ、地域でのごみ減量化、リサイクルに向け、活動を推進しました。

さらに、平成6年6月からEMバケツのモニターを開始し、11月に「リサイクル展示室」を開設しました。また、毎年11月中旬に、環境フェアを開催し、ごみの減量化、リサイクル意識の高揚等に取り組んできました。

平成5年3月には「岸和田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例」を全部改正し、「岸和田市廃棄物の減量化及び適正処理に関する条例」が制定され、平成8年3月にその一部を改正し、事業系ごみの減量化に取り組んでいます。

平成7年6月、循環型の新しいリサイクル社会の構築をめざす「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律」（以下「容器包装リサイクル法」という。）が制定されました。この法律は、家庭から一般廃棄物として排出される容器包装廃棄物の

回収リサイクルシステムを確立するため、「消費者が分別排出」し、「市町村が分別収集」し、「事業所が再商品化（リサイクル）」するという各々の役割分担を規定しています。

本市では、行政と生協やスーパーなど流通業界が協力してペットボトルを回収する実験を行いました。官と民が協力して回収を行う取り組みは全国で初めての試みでありました。実験は平成 9 年 3 月まで行われ、「容器包装リサイクル法」が施行された平成 9 年 4 月以降はこの「岸和田方式」を本格稼動して今日に至っています。

平成 12 年 4 月「容器包装リサイクル法」の完全施行に伴い、モデル地域においてプラスチック類の分別収集を実施し、平成 14 年 3 月市内全域で実施しました。

環境への負荷の低減に向けて

平成 12 年 5 月に成立した「循環型社会形成推進基本法」の趣旨に即応し、廃棄物減量等推進審議会において、廃棄物の減量化、リサイクル並びに環境への負荷が低減される社会の実現に向け「粗大ごみの収集運搬手数料」及び「一般家庭ごみ」について、「ごみの収集の有料化」を検討し、平成 14 年 7 月 1 日から一般家庭ごみの一部、粗大ごみの有料化（シール制）を導入し、同時に無色透明・白色半透明袋の排出としました。

平成 13 年 4 月からは「特定家庭用機器再商品化法」が施行され、原則として家電 4 品目（洗濯機・エアコン・冷蔵庫・テレビ）は、家電小売店での引取りとなりました。また、本市でも収集及び運搬に係る手数料を設定し、収集しています。

平成 14 年 5 月から埋立ごみの実験回収を行い、翌年 4 月より市内全域で埋立ごみの回収を実施しました。

不法投棄の抑制と啓発のため、平成 14 年 10 月に不法投棄禁止ポスターを作製し、各町会等に約 1,600 枚を有料で配布し、平成 17 年 3 月には、全公用車（約 270 台）にマグネット式啓発ポスターを貼付け、パトロールの強化に努めました。また、不法投棄を重点的に監視するため、平成 16 年に不法投棄監視カメラを設置しました。

平成 18 年 11 月より一部事務組合による「岸和田市貝塚市クリーンセンター」へ試験的に搬入を開始しました。（1 日あたり焼却能力 531 t、粗大ごみ処理能力 41 t、資源化処理能力 32.6 t）

平成 19 年 6 月より、分別を細分化するため、町会の協力により、小さな金属類の回収を実施しました。

平成 21 年 6 月、市議会において「岸和田市廃棄物の減量化及び適正処理に関する条例の一部改正」が可決され、平成 22 年 4 月から一般家庭普通ごみの有料指定袋制が始まりました。

今後のごみ処理に向けて

資源はいずれ枯渇するもの、地球温暖化もいずれおとずれるもの、遠い先のことと安易に思っていたが、すぐそこに迫ってきていると実感することが多くなってきました。

ごみを分別して、資源に再生することが重要な課題となってきました。また、焼却にともない発生するダイオキシンや、最終処分地にも限りがあり、これらへの対策が重要な課題となっています。みんなで力を合わせ、地球にやさしい環境作りを進めることが大切です。

イ 事業年表

年度	月	事業
昭和 7 年		岸和田市に焼却場建設（現中央体育館）
昭和 39 年		「岸和田市塵芥処理場」建設（処理能力・60 t / 日）
昭和 42 年		戸別に収集していたごみをステーション方式へ切り変える （野田町と中町をモデル地区に指定）
昭和 44 年		一部事務組合「岸和田市貝塚市清掃工場」建設（処理能力・450 t / 日）
昭和 48 年		全市域の収集方法を現在のステーション方式へ移行 家庭ごみの週 2 回収集と祝日収集が実施される
昭和 53 年	6 月	「まちを美しくする市民運動推進協議会」が結成
平成 元年	4 月	電話受付による粗大ごみの個別収集開始
平成 2 年		資源ごみ（空きビン・空きカン）の分別収集開始
		廃乾電池の専用回収ボックスの設置（60 ヶ所）
平成 3 年		「再生資源の利用の促進に関する法律」が制定
	4 月	古紙等集団回収（103 団体）
	9 月	牛乳パック回収ボックス設置（13 ヶ所）
平成 4 年	6 月	廃食用油の回収実施
平成 5 年	11 月	環境部リサイクル課を設置 「廃棄物減量等推進審議会」を設置
平成 6 年	1 月	「廃棄物減量等推進員」制度を発足
	6 月	EMバケツのモニター開始
	11 月	「リサイクル展示室」を設置
平成 7 年	6 月	「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進に関する法律」制定 （容器包装リサイクル法）
平成 8 年	3 月	「岸和田市廃棄物の減量化及び適正処理に関する条例」改正
平成 12 年	4 月	「容器包装リサイクル法」の完全施行に伴いモデル地区において、プラスチック類の分別収集を実施
平成 13 年	4 月	「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」施行
平成 14 年	3 月	プラスチック類の分別収集を市内全域実施
	4 月	大阪府より大阪府屋外広告物条例第 20 条の 2 に基づく簡易除却権限の一部委任を受ける
	5 月	モデル地区（市内 5 町会）において埋立ごみの実験回収
	7 月	一般家庭ごみの一部、粗大ごみの有料化
	10 月	不法投棄禁止ポスターを製作
平成 15 年	4 月	市内全域で埋立ごみの回収を実施
	8 月	「違法屋外広告物追放登録員」制度を設置
平成 17 年	3 月	不法投棄防止対策（全公用車約 270 台にマグネット式ポスター貼付）強化
平成 18 年	4 月	粗大ごみの「ふれあい収集」実施
	6 月	市職員による不法投棄防止夜間パトロールを実施
	11 月	一部事務組合「岸和田市貝塚市クリーンセンター」試運転・一般搬入開始 （焼却施設処理能力・531 t / 日、粗大ごみ施設処理能力・41 t / 日、 資源化施設処理能力・32.6 t / 日）
平成 19 年	4 月	岸和田市貝塚市クリーンセンター本格稼働
	6 月	市内全域で小さな金属類の回収を実施
平成 20 年	4 月	環境整備課と廃棄物減量推進課が統合 課名を生活環境課に変更
平成 22 年	4 月	一般家庭普通ごみの有料指定袋制を実施
平成 23 年	6 月	家庭用生ごみ処理機器購入補助金制度を実施
平成 25 年	7 月	「岸和田市きれいなまちづくり条例」を施行
平成 27 年	4 月	空きビン・空きカン・ペットボトルの混合収集を市内全域で実施
平成 29 年	4 月	生活環境課と環境保全課が統合 課名を環境課に変更

ウ 収集処理経費

●1t当りの収集処理経費

$$\left[\frac{\text{収集経費 } 15 \text{ 億 } 1,495 \text{ 万 } 5,287 \text{ 円}}{[\text{収集量}] \text{ 一般家庭ごみ } 44,048\text{t} - \text{直接搬入量 } 2,447\text{t}} = \text{1t当りの収集経費 } 36,416 \text{ 円} \right]$$

$$\left[\frac{\text{岸貝分担金 } 17 \text{ 億 } 7,027 \text{ 万 } 7,232 \text{ 円} + \text{処理委託費 } 1 \text{ 億 } 9,685 \text{ 万 } 3,495 \text{ 円}}{\text{総排出量 } [\text{収集量}] 41,601\text{t} + \text{許可 } 29,068\text{t} + \text{直接搬入 } 7,207\text{t}} = \text{1t当りの処理経費 } 25,260 \text{ 円} \right]$$

●1人当りの収集処理経費

$$\left[\frac{\text{収集経費 } 15 \text{ 億 } 1,495 \text{ 万 } 5,287 \text{ 円}}{\text{平成 } 30 \text{ 年 } 10 \text{ 月 } 1 \text{ 日 現在の人口 } 195,639 \text{ 人}} = \text{1人当りの収集経費 } 7,744 \text{ 円} \right]$$

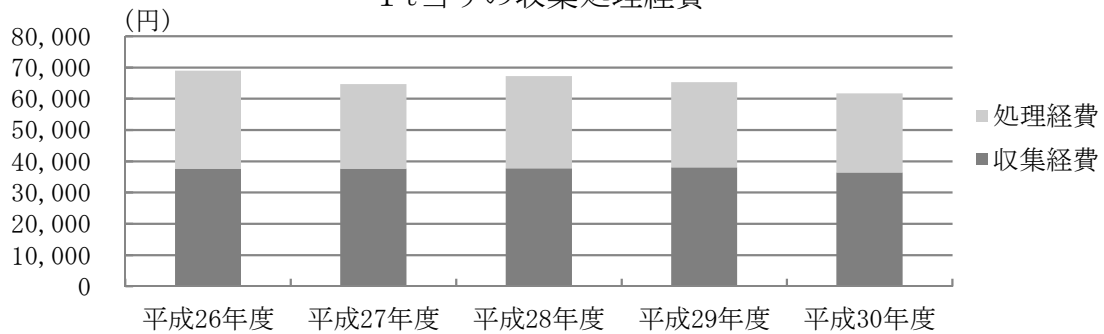
$$\left[\frac{\text{岸貝分担金 } 17 \text{ 億 } 7,027 \text{ 万 } 7,232 \text{ 円} + \text{処理委託費 } 1 \text{ 億 } 9,685 \text{ 万 } 3,495 \text{ 円}}{\text{平成 } 30 \text{ 年 } 10 \text{ 月 } 1 \text{ 日 現在の人口 } 195,639 \text{ 人}} = \text{1人当りの処理経費 } 10,054 \text{ 円} \right]$$

年度別収集処理経費

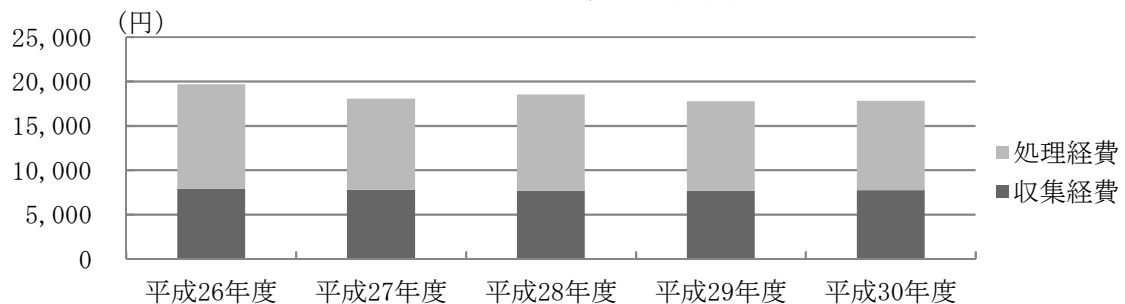
(単位：円)

		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
1 t 当り	収集経費	37,603	37,605	37,721	38,051	36,416
	処理経費	31,340	27,061	29,440	27,221	25,260
	合計	68,943	64,666	67,161	65,272	61,676
1 人 当り	収集経費	7,882	7,786	7,667	7,657	7,744
	処理経費	11,805	10,270	10,848	10,134	10,054
	合計	19,687	18,056	18,515	17,791	17,798

1 t当りの収集処理経費



1 人当りの収集処理経費



エ 一般廃棄物の排出量

岸和田市貝塚市クリーンセンター、及びプラスチック類の中間処理施設への搬入量に集団回収等の地域回収を含んだ総排出量（項目17、岸和田市の一般廃棄物 総排出量）です。

（単位：t）

区分/年度			平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
人 口(人) (10月1日現在)			200,358	199,416	198,142	197,142	195,639
世 帯 数 (10月1日現在)			85,293	85,933	86,305	86,787	87,093
一 般 家 庭 ご み	a	1. 普通ごみ	29,891	29,541	29,070	28,713	30,436
		ア直営	2,802	2,774	2,741	2,786	4,660
		イ委託	27,089	26,767	26,329	25,927	25,776
	b	2. 空きビン・空きカン・ペットボトル	1,904	2,154	2,132	2,104	2,087
		ア直営	163	173	170	170	170
		イ委託	1,741	1,981	1,962	1,934	1,917
		3. プラスチック製容器包装	3,023	2,733	2,647	2,605	2,614
		ア直営	238	221	219	218	211
		イ委託	2,785	2,512	2,428	2,387	2,403
		4. ペットボトル(直営)	59	40	32	29	29
		5. 紙パック(委託)	12	11	7	7	5
		6. 廃食用油(委託)	14	15	13	13	14
	c	7. 粗大ごみ(災害ごみ含む)	344	341	336	422	825
		可燃性 ア直営	234	233	226	301	500
		イ委託	-	-	-	-	12
		不燃性 ア直営	110	108	110	121	288
		イ委託	-	-	-	-	25
	d	8. 埋立ごみ(直営)	190	193	167	167	329
		9. 小さな金属(直営)	37	38	35	34	40
e	10. 廃蛍光管(直営)	10	9	9	8	8	
	11. 廃乾電池(直営)	20	20	20	19	22	
f	12. 直接搬入量	2,786	2,010	1,659	1,767	2,447	
g	13. 集団回収(新聞・雑誌・ダンボール等)	6,494	6,194	5,803	5,552	5,192	
A. 一般家庭ごみ 計 (1+2+3+4+5+6+7+8+9+10+11+12+13)			44,784	43,299	41,930	41,440	44,048
比 率 (A÷17)			59.34%	57.21%	57.43%	56.46%	56.56%
事 業 系 ご み	14. 許可業者搬入量		25,700	26,241	26,326	27,559	29,068
	a	ア普通ごみ	25,098	25,705	25,791	26,913	28,382
	b	イビン・カン	126	116	102	98	86
	c	ウ粗大ごみ	476	420	433	548	600
		可燃性	424	375	387	509	477
		不燃性(金属・セトモノ)	52	45	46	39	123
	f	15. 直接搬入量	4,990	6,145	4,755	4,399	4,760
	B. 事業系ごみ 計 (14+15)		30,690	32,386	31,081	31,958	33,828
	比 率 (B÷17)		40.66%	42.79%	42.57%	43.54%	43.44%
16. 清掃工場搬入量 計 (A+B) - (3+5+6+13)			65,932	66,732	64,541	65,222	70,051
17. 総排出量 (A+B)			75,474	75,685	73,011	73,398	77,876
18. 1人1日当りの排出量(17÷人口÷日数)g			1,032	1,040	1,009	1,020	1,090
19. 年間1人当たり収集処理経費 (円)			19,687	18,056	18,515	17,791	17,798

a 可燃ごみ b 資源ごみ c 粗大ごみ d 不燃ごみ e その他ごみ f 直接搬入ごみ g 集団回収

※平成 27 年 4 月より、空きビン・空きカン・ペットボトルの混合収集を実施

(2) 一般廃棄物の収集と処理

ア 一般家庭ごみ

(ア) 普通ごみ

有料指定袋（10ℓ、20ℓ、30ℓ、45ℓ）を使用し排出された普通ごみを、直営及び委託業者 9 社が、市内全域を週 2 回のステーション方式で収集しています。

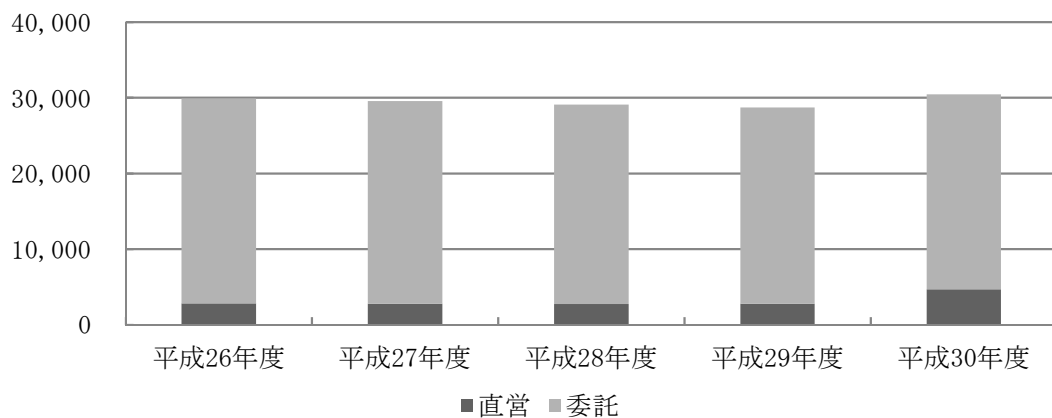
普通ごみの年度別排出量

(単位：t)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
直営	2,802	2,774	2,741	2,786	4,660
委託	27,089	26,767	26,329	25,927	25,776
総排出量	29,891	29,541	29,070	28,713	30,436

普通ごみの年度別排出量

(t)



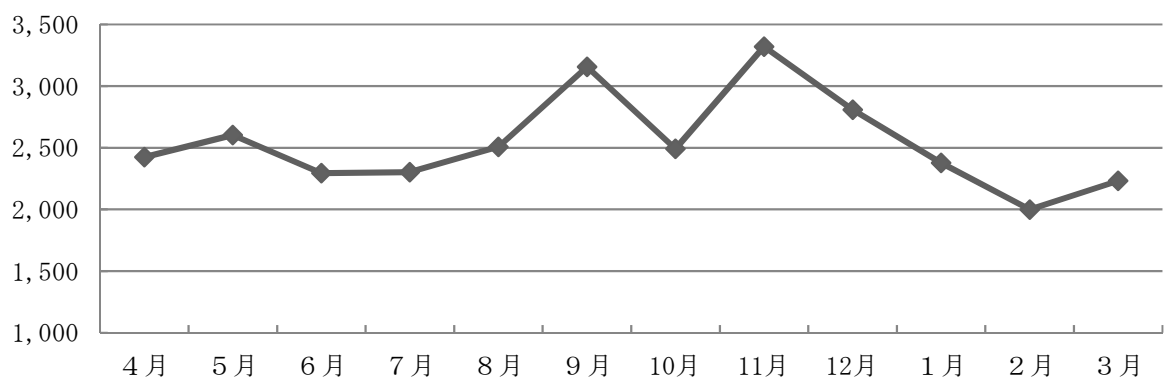
平成 30 度 普通ごみの月別排出量

(単位：t)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
2,423	2,604	2,295	2,303	2,507	3,157	2,492	3,321	2,808	2,377	1,999	2,233	30,436

平成30年度 普通ごみの月別排出量

(t)



(イ) 空きビン・空きカン・ペットボトル

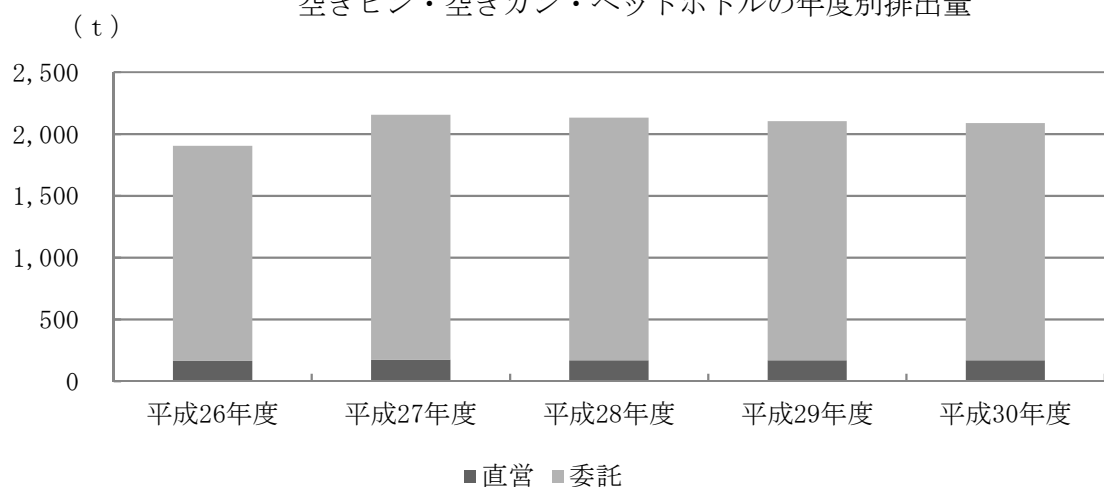
無色透明・白色半透明袋で排出された空きビン・空きカン・ペットボトルを、直営及び委託業者 9 社が、市内全域を週 1 回のステーション方式で収集しています。

平成 27 年 4 月より、空きビン・空きカンに加え、ペットボトルも混合で収集しています。

空きビン・空きカンの年度別排出量 (単位：t)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
直営	163	173	170	170	170
委託	1,741	1,981	1,962	1934	1917
総排出量	1,904	2,154	2,132	2,104	2,087

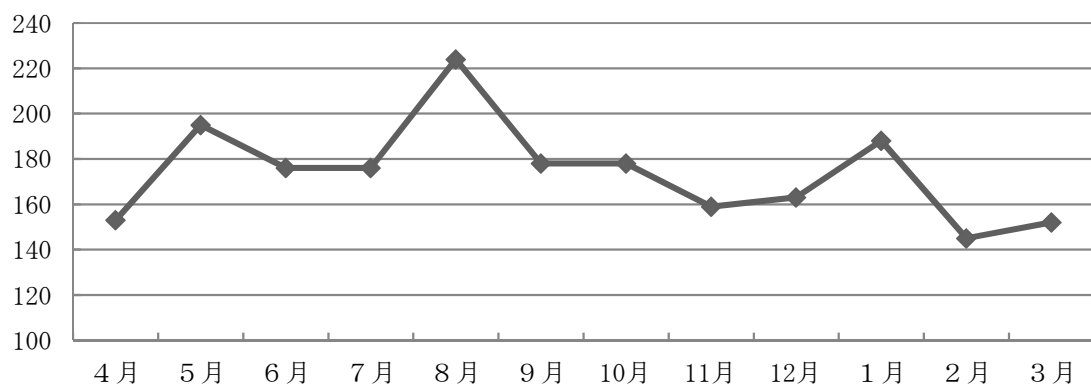
空きビン・空きカン・ペットボトルの年度別排出量



平成 30 年度 空きビン・空きカン・ペットボトルの月別排出量 (単位：t)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
153	195	176	176	224	178	178	159	163	188	145	152	2,087

平成30年度 空きビン・空きカン・ペットボトルの月別排出量



(ウ) プラスチック製容器包装

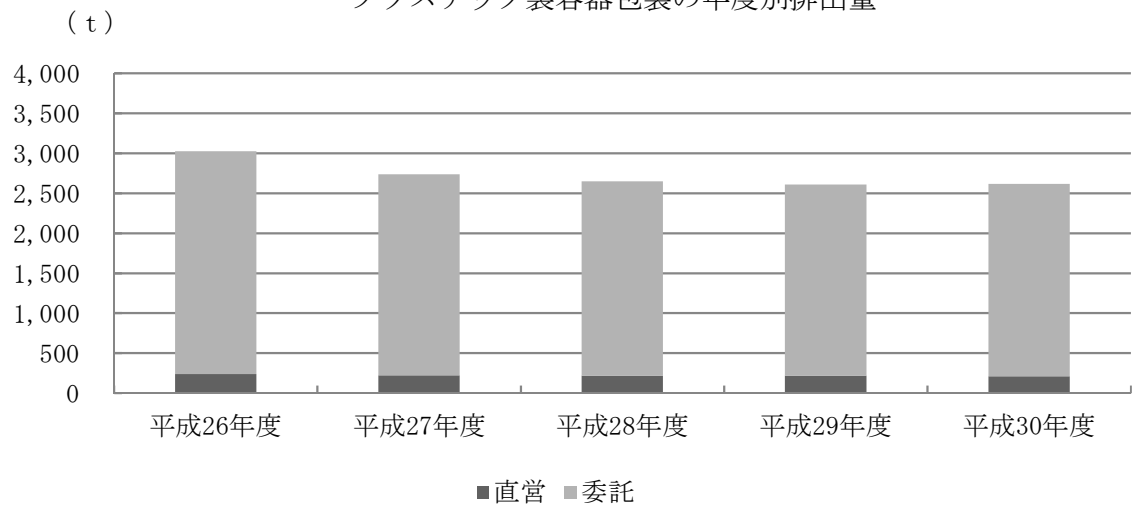
「容器包装リサイクル法」の完全施行に伴い、モデル地区の収集を経て、平成 14 年 3 月から市内全域を直営及び委託業者 9 社が、無色透明・白色半透明袋で排出されたプラスチック類を、週 1 回のステーション方式で収集しています。

プラスチック製容器包装の年度別排出量

(単位：t)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
直営	238	221	219	218	211
委託	2,785	2,512	2,428	2,387	2,403
総排出量	3,023	2,733	2,647	2,605	2,614

プラスチック製容器包装の年度別排出量

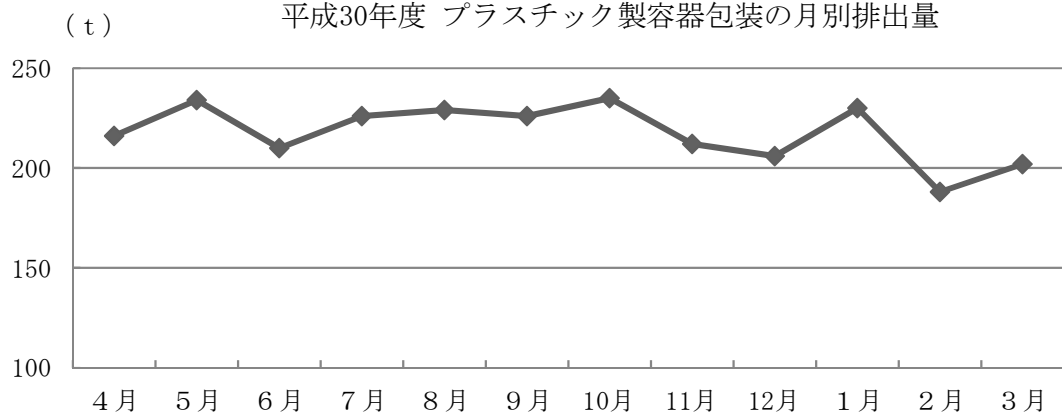


平成 30 年度 プラスチック製容器包装の月別排出量

(単位：t)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
216	234	210	226	229	226	235	212	206	230	188	202	2,614

平成30年度 プラスチック製容器包装の月別排出量



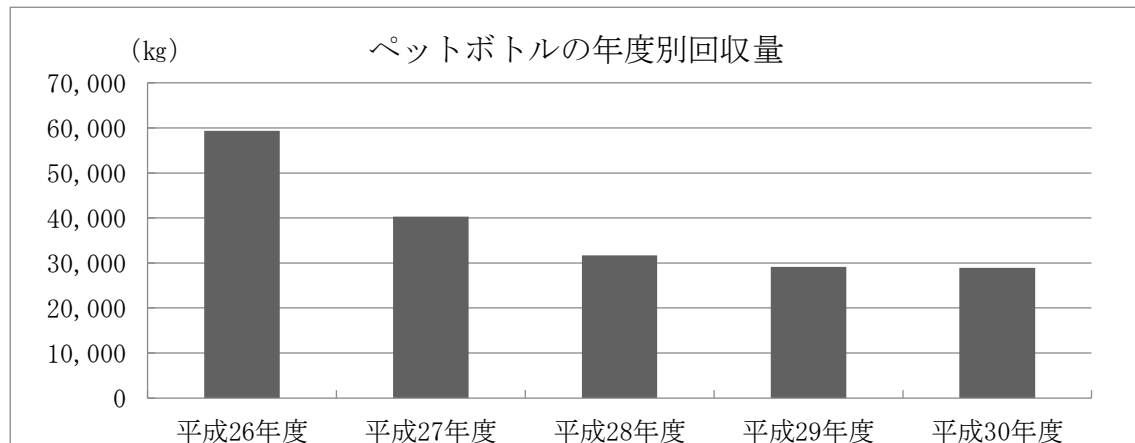
(エ) ペットボトル

スーパー等の流通業界の協力のもと、それぞれに拠点を設けて直営で回収を行い、岸和田市貝塚市クリーンセンターに搬入しています。平成 27 年 4 月より、空きビン・空きカンとペットボトルの混合収集を行っています。

ペットボトルの月別・年度別回収量

(単位：kg)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成 26 年度	4,390	5,040	6,070	6,590	7,270	6,460	5,170	3,770	3,960	3,810	3,140	3,720	59,320
平成 27 年度	3,460	3,870	4,160	4,480	5,220	4,020	3,360	2,840	2,640	2,100	2,010	2,160	40,320
平成 28 年度	2,320	2,810	2,830	3,270	4,260	3,250	2,840	2,150	2,020	2,040	1,730	2,120	31,640
平成 29 年度	1,960	2,790	2,640	3,410	3,490	2,950	2,310	2,030	1,860	2,100	1,640	1,940	29,120
平成 30 年度	2,140	2,320	2,510	3,360	3,820	2,950	2,610	2,010	1,650	2,050	1,620	1,860	28,900



ペットボトル回収ボックス設置場所

NO	設置場所	NO	設置場所
1	オークワ岸和田店	14	八阪町杉乃木保育園横
2	オークワ岸和田八田店	15	都健幸会クリニック横(旧下松クリニック)
3	コープ久米田店	16	ジョリーパスタ裏
4	スーパーサンエー上松店	17	岸和田市民病院
5	スーパーサンエー久米田店	18	保健センター
6	スーパーサンエー東岸和田店	19	岸和田市役所
7	スーパーサンエーフード田中店	20	天神山地区公民館
8	スーパーサンエー山直店	21	山直市民センター
9	ダイコー岸和田店	22	山滝地区公民館
10	イオン東岸和田店	23	光明地区公民館
11	長崎屋岸和田店	24	山滝支所
12	ライフコーポレーション和泉大宮店	25	環境事務所
13	八阪町会館		

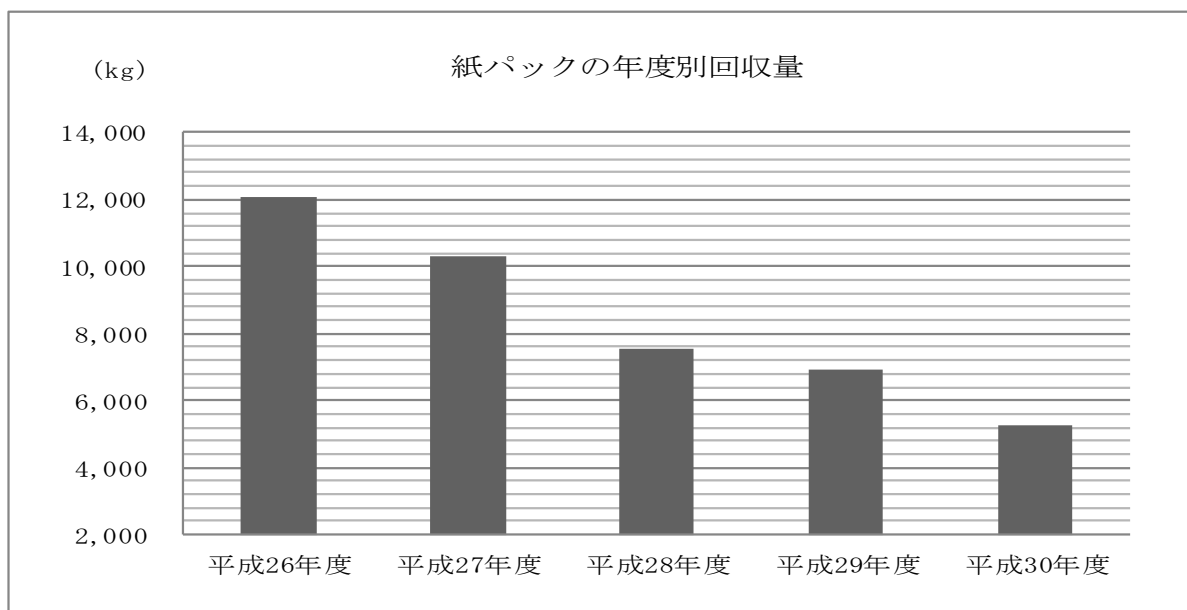
(オ) 紙パック

ごみの減量及び森林資源の保護を図るために、市内のスーパーや公共施設等の協力により専用回収ボックスを設置していただいています。本市が委託により回収した量は下表のとおりです。

紙パックの月別・年度別回収量

(単位：kg)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	890	1,170	1,020	1,050	1,390	1,090	1,280	940	790	960	710	760	12,050
平成27年度	770	1,140	910	1,120	1,010	870	1,050	800	800	790	530	520	10,310
平成28年度	630	570	630	770	770	760	590	490	730	430	460	710	7,540
平成29年度	490	560	700	590	590	1,180	440	460	600	440	380	490	6,920
平成30年度	350	400	460	420	620	470	390	530	390	320	360	530	5,240



紙パック回収ボックス設置場所（一部自主回収含む）

NO	設置場所	NO	設置場所	NO	設置場所
1	オークワ岸和田店	9	ダイコー岸和田店	17	コープ岸和田店
2	オークワ岸和田八田店	10	イオン東岸和田店	18	消費生活センター (産業会館内)
3	コープ久米田店	11	松源岸和田中井店	19	女性センター
4	スーパーサンエー 上松店	12	松源岸和田西之内店	20	大芝地区公民館
5	スーパーサンエー 久米田店	13	万代岸和田磯上店	21	中央地区公民館
6	スーパーサンエー 東岸和田店	14	万代東岸和田店	22	山滝地区公民館
7	スーパーサンエー フード田中店	15	長崎屋岸和田店	23	保健センター
8	スーパーサンエー 山直店	16	ライフコーポレーション 和泉大宮店	24	環境事務所

(カ) 廃食用油

各町会や廃棄物減量等推進員の協力を得て集められた廃食用油は、リマテック(株)に搬入され、セメント製造の補助燃料として再利用されています。

廃食用油の年度別回収量

(単位：kg)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
拠点回収量	11, 431	11, 570	10, 420	10, 750	10, 090
常設回収量	2, 099	3, 200	2, 800	1, 840	3, 530
総回収量	13, 530	14, 770	13, 220	12, 590	13, 620

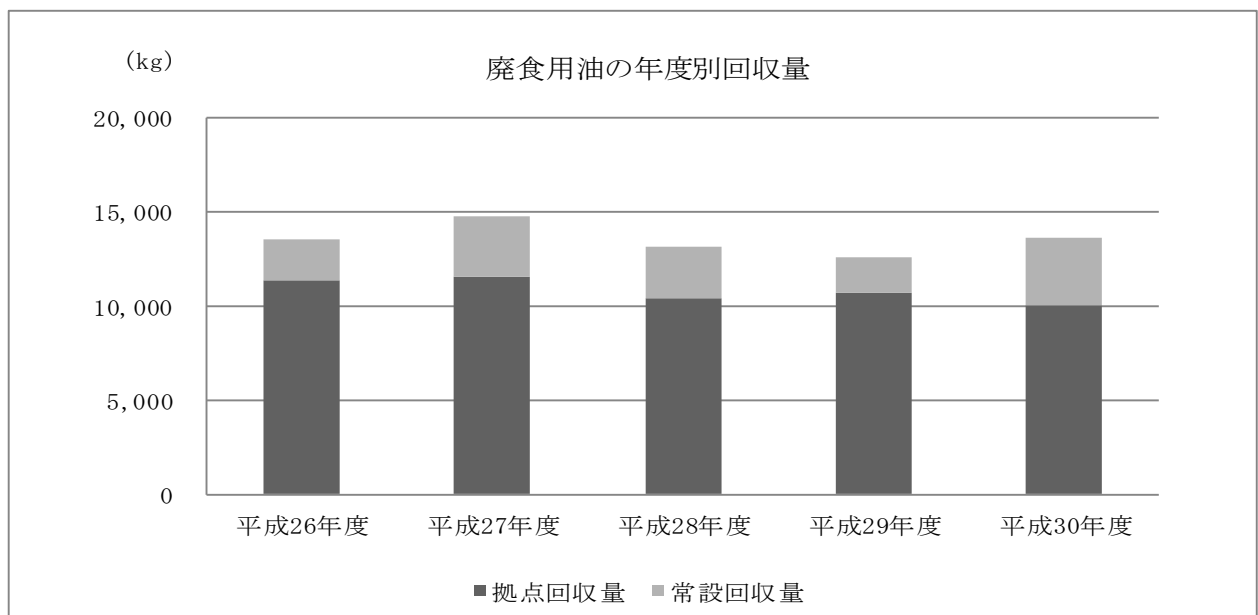
平成 30 年度 廃食用油回収事業拠点回収内訳

(単位：kg)

実施校区名	回 収 量			設置箇所
	上半期	下半期	年 間	
太田・旭	450	380	830	8
新条・八木北	370	440	810	6
山直北・城東	530	520	1, 050	9
大宮・山直南	300	300	600	9
光明・天神山	300	290	590	9
中央・浜・城内	420	1, 160	1, 580	17
朝陽・東光	590	440	1, 030	9
春木・大芝・城北	760	700	1, 460	14
八木南	320	270	590	8
常盤	310	330	640	13
修斉・東葛城	300	200	500	11
八木	230	180	410	8
計	4, 880	5, 210	10, 090	121

平成 30 年度 廃食用油回収事業常設回収内訳 (単位 : kg)

町 名	回収量	収集回数	設置箇所
1. 南上町 1 丁目	403	2	1
2. 中北町	192	1	1
3. 府営並松住宅	158	1	1
4. 上野町東	34	1	1
5. 三田町	491	4	1
6. 三田町小倉	34	1	1
7. 西之内町	441	3	1
8. 加守町 3 丁目	263	2	1
9. 内畑町下出	158	1	1
10. 内畑町沢峰	34	1	1
11. 内畑町辻堂	136	1	1
12. 内畑町西堂	12	1	1
13. 内畑町山口	56	1	1
14. 上・下大沢町	23	1	1
15. 牛滝町	56	1	1
16. 稲葉町	23	1	1
17. 環境事務所	1,016	1	1
計	3,530	24	17



(キ) 粗大ごみ

一般家庭から出る粗大ごみは、専用電話で申し込みを受付け、品物に該当する金額の「粗大ごみ処理券」を貼って、屋外の指定場所に排出をお願いする、予約制有料戸別収集(平成14年7月以降)となっており、市内全域を直営で収集しています。

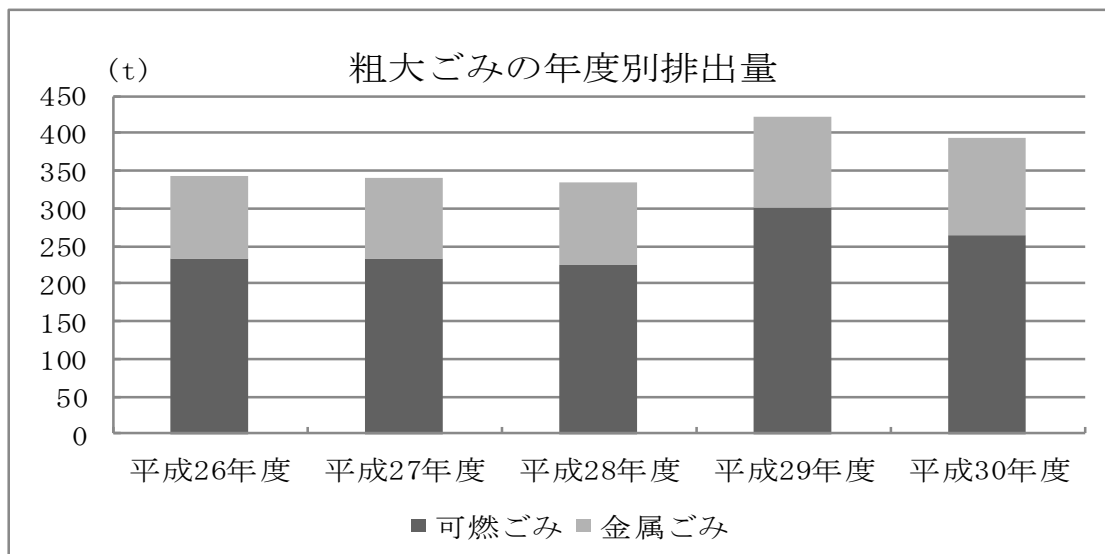
収集できない品物には、タイヤ・バッテリー・建築廃材・消火器・ガスボンベ・危険物・処理が困難なもの・事業所から出るごみ・家電リサイクル法対象品目(エアコン・テレビ・冷蔵庫及び冷凍庫・洗濯機及び衣類乾燥機)・パソコン(平成15年10月より製造メーカーリサイクル義務)等があります。

料金区分	品目区分
500 円	45ℓ袋に収まる量を基準に袋または箱に詰めて1個
	3辺の長さの合計が3m以内のもの1個
1,000 円	上記を超えるもの1個

粗大ごみの年度別排出量

(単位：t)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
可燃ごみ	234	233	226	301	264
金属ごみ	110	108	110	121	131
総排出量	344	341	336	422	395

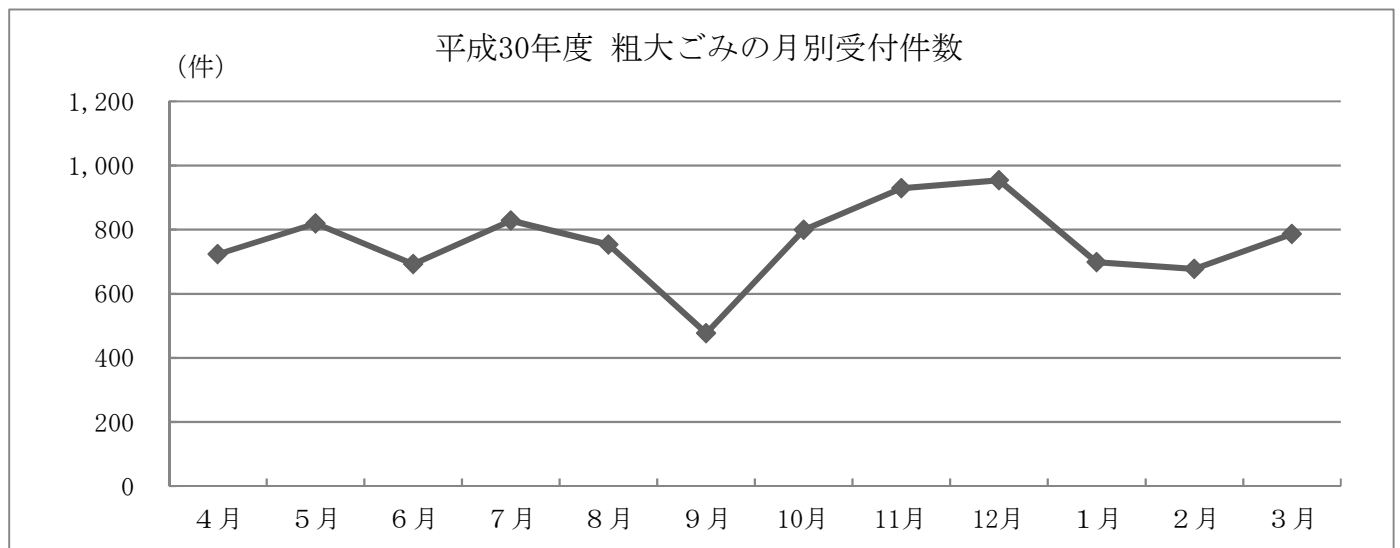
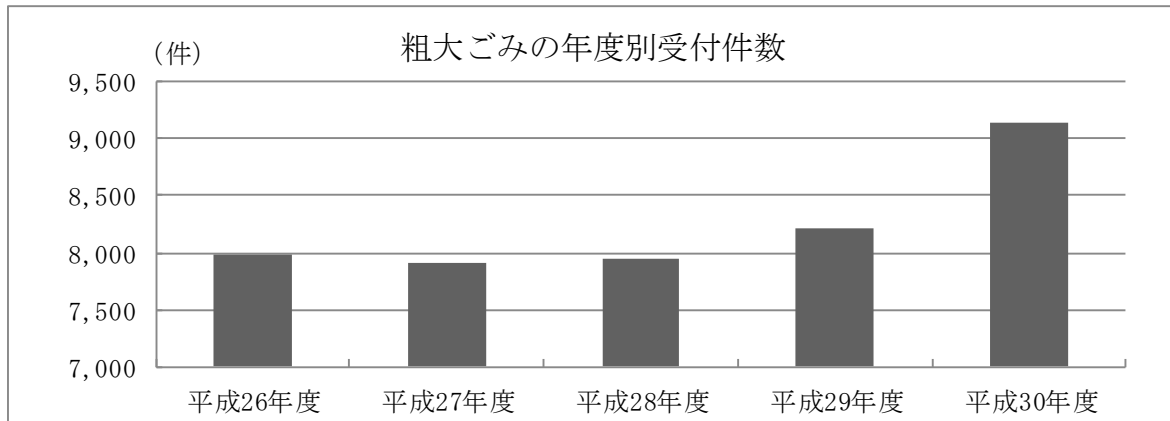


粗大ごみの月別・年度別受付件数

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	663	702	658	707	664	696	636	650	908	471	500	720	7,975
平成27年度	658	681	692	734	610	590	697	603	891	526	528	703	7,913
平成28年度	626	729	659	671	645	579	666	778	910	501	507	677	7,948
平成29年度	573	834	688	693	724	571	675	798	949	506	512	696	8,219
平成30年度	723	819	693	828	753	477	799	929	954	699	678	786	9,138

※ふれあい収集を含む

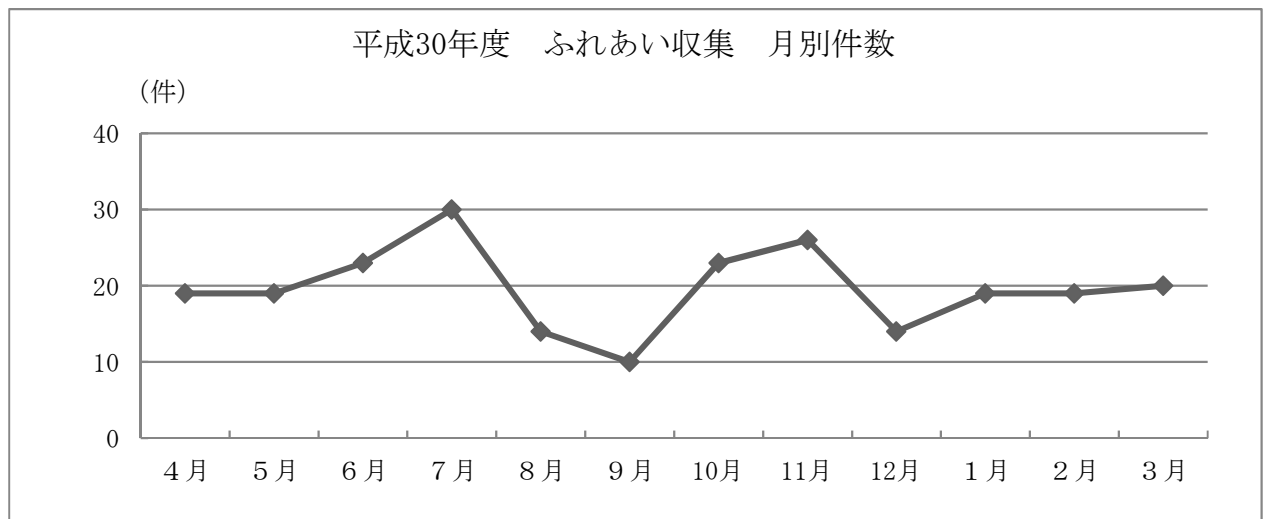


○ふれあい収集（粗大ごみ）

平成 18 年 4 月より、一人暮らしの高齢者（65 歳以上）や一人暮らしの障害者の方などを対象に、職員が直接出向いて屋内から粗大ごみの運び出しをサポートする「ふれあい収集」を開始し、平成 22 年 4 月には、高齢者のみで構成されている世帯、障害者のみで構成されている世帯も含め対象が拡大されました。

粗大ごみ ふれあい収集 月別・年度別件数 (単位:件)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
平成 26 年度	10	18	9	16	12	5	12	7	5	15	15	14	138
平成 27 年度	16	10	9	12	12	11	13	12	2	13	15	14	139
平成 28 年度	10	10	18	17	11	10	14	15	10	16	7	17	155
平成 29 年度	28	19	18	19	17	21	33	27	15	17	14	17	245
平成 30 年度	19	19	23	30	14	10	23	26	14	19	19	20	236



(ク) 埋立ごみ

平成 14 年 5 月からモデル地区での実験回収を経て、平成 15 年 4 月から市内全域で、埋立ごみの分別回収を実施しました。

回収方法は各町会の協力により 2 ケ月に 1 度の日曜日に、町会館、集会所等の指定された場所のコンテナに排出してもらい、月曜日に直営で回収し、岸和田市貝塚市クリーンセンターに搬入しています。その後、大阪沖埋立処分場に運ばれます。

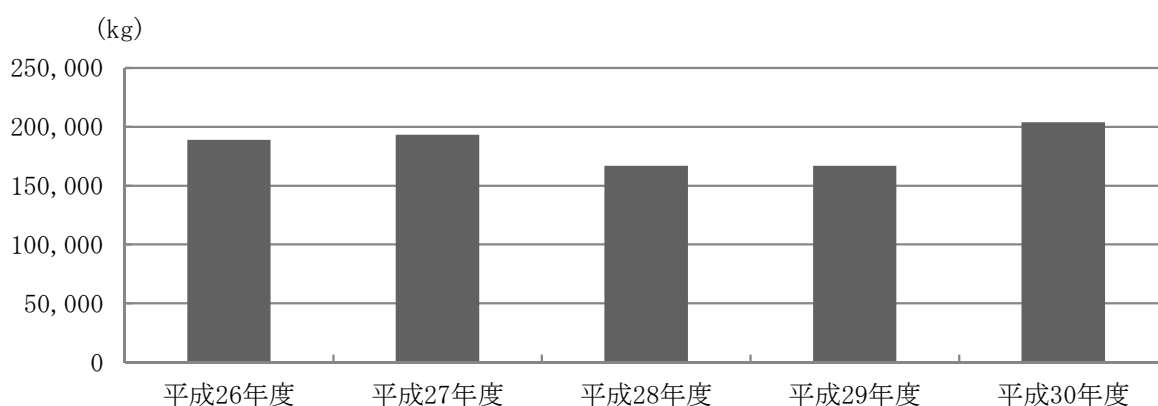
対象品目は茶碗・皿等の陶器類、板ガラス、ガラス類、化粧品ビン、電球等です。

埋立ごみの年度別排出量

(単位：kg)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
直営	188,790	193,020	166,650	166,710	203,860

埋立ごみの年度別排出量

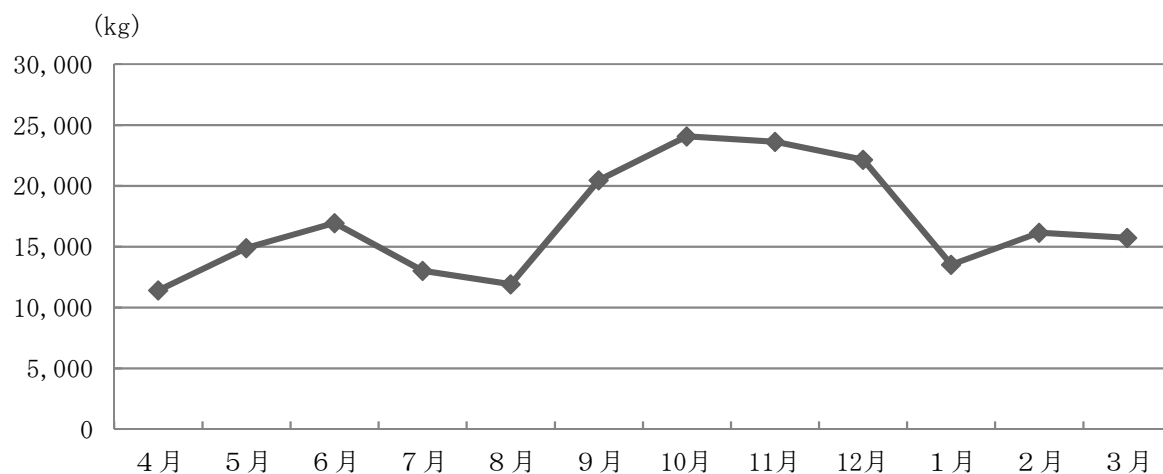


平成 30 年度 埋立ごみの月別排出量

(単位：kg)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
11,420	14,890	16,950	13,030	11,900	20,460	24,060	23,610	22,140	13,520	16,150	15,730	203,860

平成30年度 埋立ごみの月別排出量



(ケ) 小さな金属類

平成 18 年 8 月からモデル地区での実験回収を経て、平成 19 年 6 月から市内全域で（一部の町会を除く）小さな金属類の分別回収を実施しました。

回収方法は、埋立ごみと同じ日に別のコンテナに排出してもらい、翌日に直営で回収し、岸和田市貝塚市クリーンセンターに搬入した後、資源化されています。

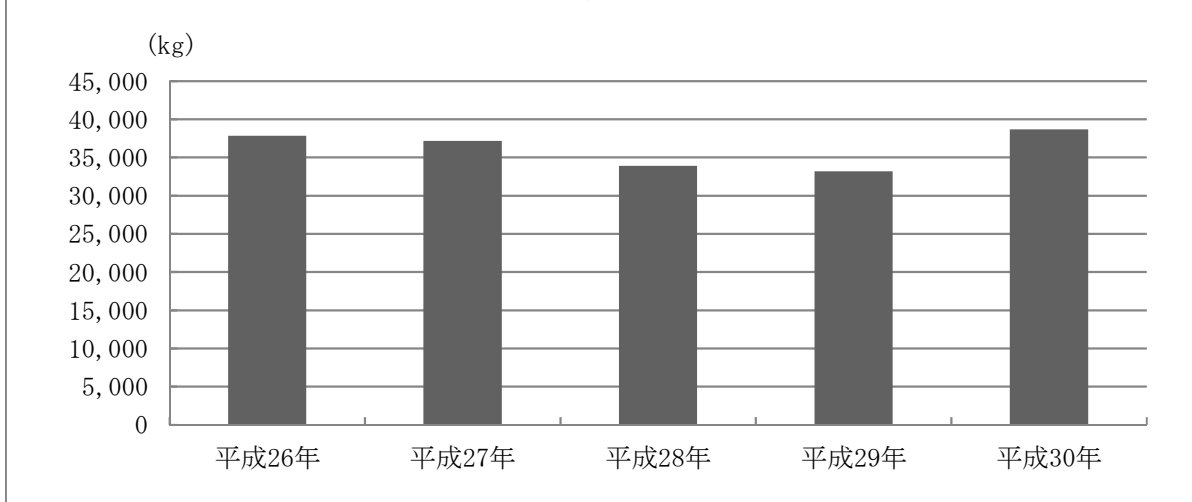
対象品目は、鍋・ヤカン・フライパン・傘・スチールハンガーと長さが 25 c m 以下の金属類（電化製品は除く）です。

小さな金属類の年度別排出量

(単位：kg)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
直営	37,830	37,150	33,870	33,190	38,660

小さな金属類の年度別排出量

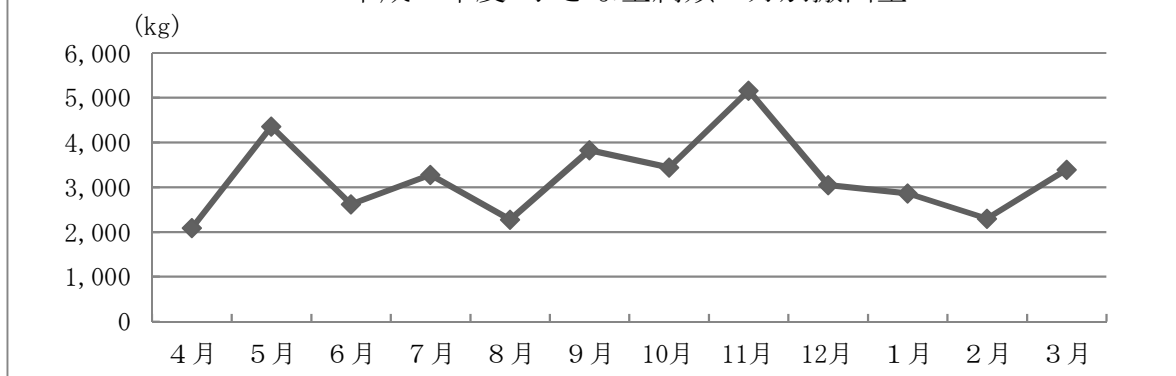


平成 30 年度 小さな金属類の月別排出量

(単位：kg)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
2,090	4,360	2,620	3,280	2,280	3,830	3,440	5,160	3,050	2,860	2,300	3,390	38,660

平成30年度 小さな金属類の月別搬出量



(コ) 廃蛍光管

平成 19 年 4 月から、埋立ごみとして回収していた廃蛍光管の分別回収を実施しました。

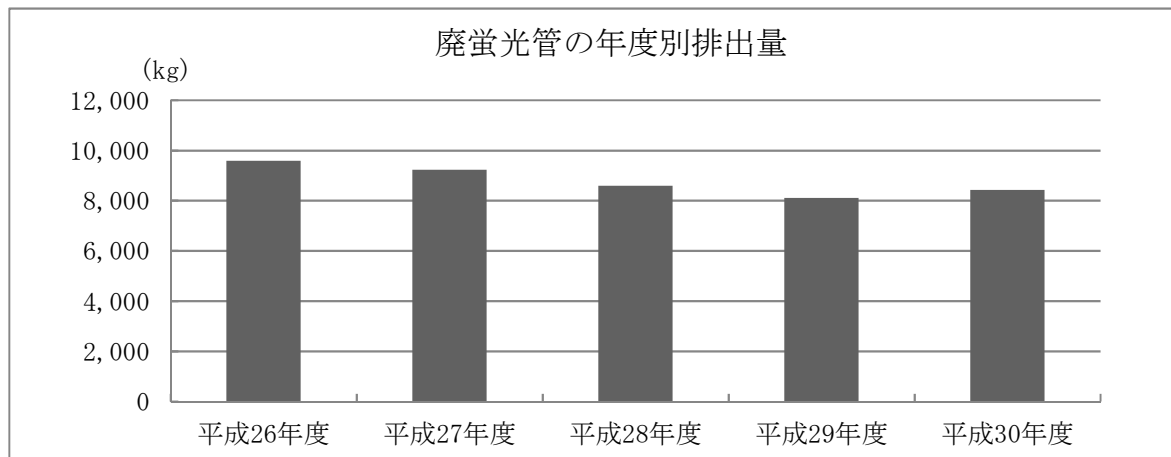
回収方法は、埋立ごみ・小さな金属類と同じ日に別のコンテナに排出してもらい、翌日に直営で回収し、岸和田市貝塚市クリーンセンターに搬入した後、資源化されています。

対象品目は、破損していない廃蛍光管のみです。(破損した廃蛍光管、電球は、埋立ごみになります。)

廃蛍光管の年度別排出量

(単位：kg)

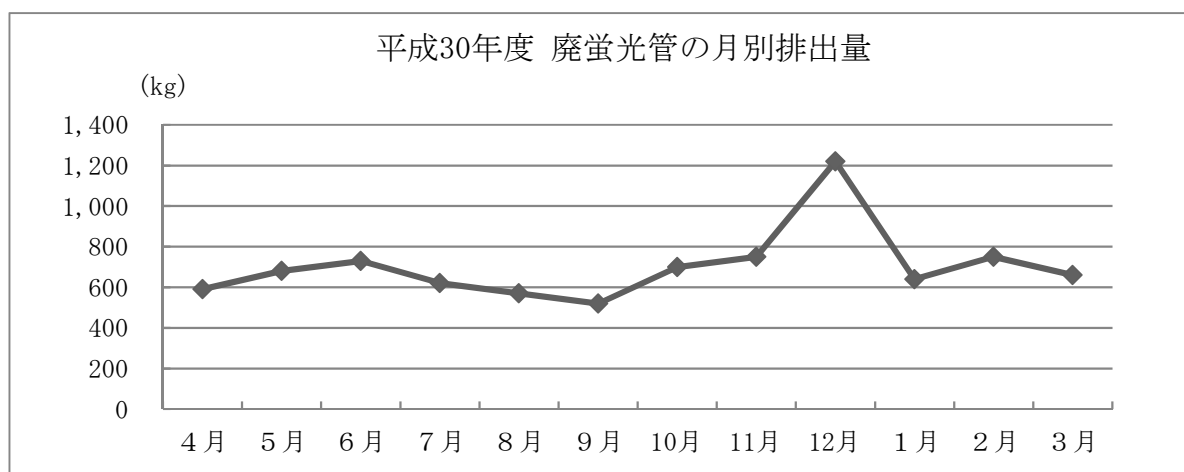
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
直営	9,590	9,230	8,590	8,100	8,430



平成 30 年度 廃蛍光管の月別排出量

(単位：kg)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
590	680	730	620	570	520	700	750	1,220	640	750	660	8,430



(サ) 廃乾電池

市内の町会館、集会所、公民館、スーパー等に回収ボックスを設置し直営で回収しています。回収された廃乾電池は、岸和田市貝塚市クリーンセンターにストックした後、資源化されています。

廃乾電池の年度別収集量

(単位：kg)

平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
20, 190	19, 700	20, 010	19, 010	22, 060

設置校区	廃乾電池回収ボックス設置場所
中央	堺町会館 北町会館 五軒屋町会館 市立公民館
城内	南上町 1 丁目会館 南上町 2 丁目会館 岸城町南部会館 岸城町北部会館 南町 (新会館 会館) ハイネスヴェルデ (ごみ置場) 市役所 (新館 旧館 別館) 環境事務所
浜	中北町会館 臨海会館管理事務所 大北町新会館老人集会所 中町会館
朝陽	岸和田コーポラス (管理事務所) 光陽地区公民館 ふれあいセンター朝陽 上野町東公民館 ファミリーマート岸和田並松町店 牛ノログラウンド 府営並松住宅集会所 下野町 1 丁目市営住宅集会所 上野町西会館 上野町東公民館 朝陽公民館
東光	野田町会館 福祉総合センター 保健センター 消費者センター (産業会館 3 F) ダイコー岸和田店 藤井町青少年会館 別所町会館
旭	東岸和田市民センター 土生町会館 行遇町集会所 山下住宅町会館 スーパーサンエー東岸和田店
太田	太田町会館 畑町会館 府営土生住宅集会所 極楽寺町公民館 流木町公民館 イオン東岸和田店 (1 F サービスセンター)
修斉	葛城町会館 葛城地区公民館 オークワ岸和田八田店 真上町公民館 阿間河滝町会館
東葛城	塔原町実行組合 相川町実行組合 河合町会館 神於町実行組合 上白原地蔵尊前
春木	春木市民センター 春木地区公民館 春木団地集会所 春木南浜町会館 春木元町会館 春木泉町会館 春木本町会館 春木大国町会館 春木大小路町会館
大芝	大芝地区公民館 八幡町会館 シャルマンフジ忠岡 (磯上町) ごみ置場 松風町会館 磯上町会館 八幡東町集会所 万代岸和田磯上店
新条	松源岸和田中井町店 中井町公民館 若葉ヶ丘町会館 新条地区公民館 星ヶ丘町会集会所
城北	城北地区公民館 スーパーサンエーフード田中店 春木旭町会館 吉井町公民館 旭府営住宅集会所 旭町事業団地
八木北	箕土路青少年会館 下池田町旧会館
八木	スーパーサンエー久米田店 レックスガーデン岸和田 (管理室横) 紅葉ヶ丘町集会所 八木市民センター
八木南	池尻町会館 額町会館 松ヶ丘町会館 コープ久米田店 緑ヶ丘町集会所 花田町会館 市立岸和田市民病院
山直北	岡山市青年会場 黄金塚第 1 期 (町会館) 黄金塚第 2 期 (グリーンベルト) 今木町公民館 岡山市バス停横ごみ置場 三田町公民館 小倉公民館 スーパーサンエー山直店 山直市民センター 田治米町会館
城東	東ヶ丘町会館
山直南	山滝地区公民館 積川町会館 包近町会館 翠ヶ丘町
光明	尾生町公民館 尾生町青年会場 中尾生町公民館 福田町公民館 三ヶ山町掲示板前 光明地区公民館
常盤	星和上松台集会所 上松台東町会館 下松町公民館 八阪町公民館 上松町公民館 門前町公民館 スーパーサンエー上松店 上松緑町 山下町公民館 上松台西町会館 桜台市民センター 岸和田リハビリテーション病院
大宮	宮前町公民館 男女共同参画センター 加守町 1・2・3・4 丁目 (会館 集会所) グランコート岸和田春木向かい電柱 西之内町公民館 サン・アビリティーズ 加守第 1 児童遊園 かみでんき 松源岸和田西之内店 杉の湯
山滝	山滝支所 大沢山荘
天神山	天神山地区公民館 天神山 3 丁目ごみ置場 天神山 G 団地ごみ置場 A・B

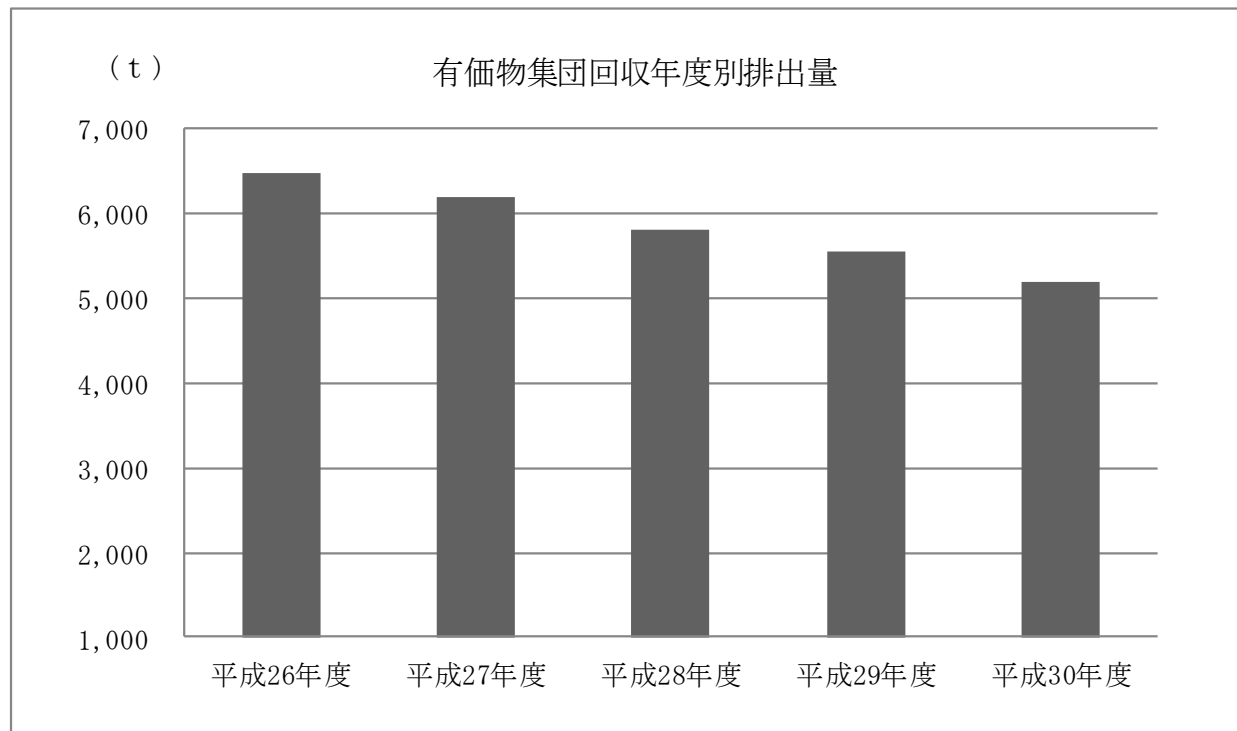
※上記の他に一部の小中学校にも設置してあります。

(シ) 集団回収

平成3年4月より、ごみの減量及び資源化の促進、ごみ問題に対する市民の意識向上を目的として、集団回収（新聞・雑誌・ダンボール・古布）を自主的に行っている市内の町会、子供会等の団体に対し奨励金（6円/kg）を交付しています。

有価物集団回収奨励金制度年度別回収実績

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
交付団体		201	201	199	200	198
実施回数(回)		2,754	2,717	2,997	3,073	3,142
総回収量(kg)		6,494,148	6,194,487	5,802,695	5,551,769	5,192,253
前年度比(%)		96.8	95.4	93.7	95.7	93.5
1団体当り(kg)		32,309	30,818	29,159	27,759	26,224
回収量内訳(kg)	新聞	4,062,454	3,885,999	3,617,209	3,385,437	3,071,730
	雑誌	1,060,462	978,580	880,183	854,232	806,522
	ダンボール	1,074,201	1,044,409	1,046,253	1,045,808	1,039,742
	古布	297,031	285,499	259,050	266,292	274,259
奨励金(円)	奨励金合計	38,949,200	37,150,000	34,799,200	33,293,500	31,136,200
	1団体当り	193,777	184,825	174,870	166,468	157,254



有価物集団回収による実施団体種別回収量

(単位：kg)

	区分	回収内容				総回収量	実施回数
		新聞	雑誌	ダンボール	古布		
平成 26 年度	町会・自治会	1,427,731	397,354	368,719	105,074	2,298,878	945
	子供会	1,838,860	411,516	457,257	128,115	2,835,748	809
	婦人会	328,250	86,480	98,200	30,190	543,120	225
	老人会	234,999	49,891	76,260	18,496	379,646	147
	マンション管理組合	146,774	54,456	31,947	8,455	241,632	444
	青年団	44,210	50,470	27,580	3,710	125,970	24
	その他	41,630	10,295	14,238	2,991	69,154	160
	合 計	4,062,454	1,060,462	1,074,201	297,031	6,494,148	2,754
平成 27 年度	町会・自治会	1,382,965	366,503	363,149	102,390	2,215,007	1,061
	子供会	1,765,328	386,082	448,822	124,835	2,725,067	805
	婦人会	285,900	61,765	83,170	26,100	456,935	155
	老人会	232,367	50,234	76,923	17,949	377,473	162
	マンション管理組合	139,956	54,028	33,631	8,251	235,866	451
	青年団	40,300	46,520	24,510	3,070	114,400	23
	その他	39,183	13,448	14,204	2,904	69,739	60
	合 計	3,885,999	978,580	1,044,409	285,499	6,194,487	2,717
平成 28 年度	町会・自治会	1,332,578	336,109	378,829	96,378	2,143,894	1,177
	子供会	1,597,795	343,888	433,562	109,880	2,485,125	809
	婦人会	262,389	45,340	82,580	22,675	412,984	180
	老人会	222,020	44,639	76,360	17,042	360,061	156
	マンション管理組合	129,499	50,779	34,789	8,389	223,456	476
	青年団	39,230	45,120	24,820	2,420	111,590	23
	その他	33,698	14,308	15,313	2,266	65,585	176
	合 計	3,617,209	880,183	1,046,253	259,050	5,802,695	2,997
平成 29 年度	町会・自治会	1,296,352	339,759	400,507	99,193	2,135,811	1,230
	子供会	1,458,824	325,752	418,380	111,379	2,314,335	775
	婦人会	252,130	46,677	78,570	22,488	399,865	169
	老人会	192,674	35,167	58,628	15,329	301,798	144
	マンション管理組合	117,195	48,927	33,001	7,878	207,001	462
	青年団	37,120	43,700	25,270	2,400	108,490	23
	その他	31,142	14,250	31,452	7,625	84,469	270
	合 計	3,385,437	854,232	1,045,808	266,292	5,551,769	3,073
平成 30 年度	町会・自治会	1,164,411	305,606	369,833	97,082	1,936,932	1,151
	子供会	1,345,085	334,769	445,965	120,933	2,246,752	862
	婦人会	225,970	43,222	78,870	24,300	372,362	183
	老人会	171,347	37,252	65,410	15,383	289,392	145
	マンション管理組合	107,590	43,911	31,746	8,833	192,080	455
	青年団	27,330	31,170	20,410	2,210	81,120	22
	その他	29,997	10,592	27,508	5,518	73,615	324
	合 計	3,071,730	806,522	1,039,742	274,259	5,192,253	3,142

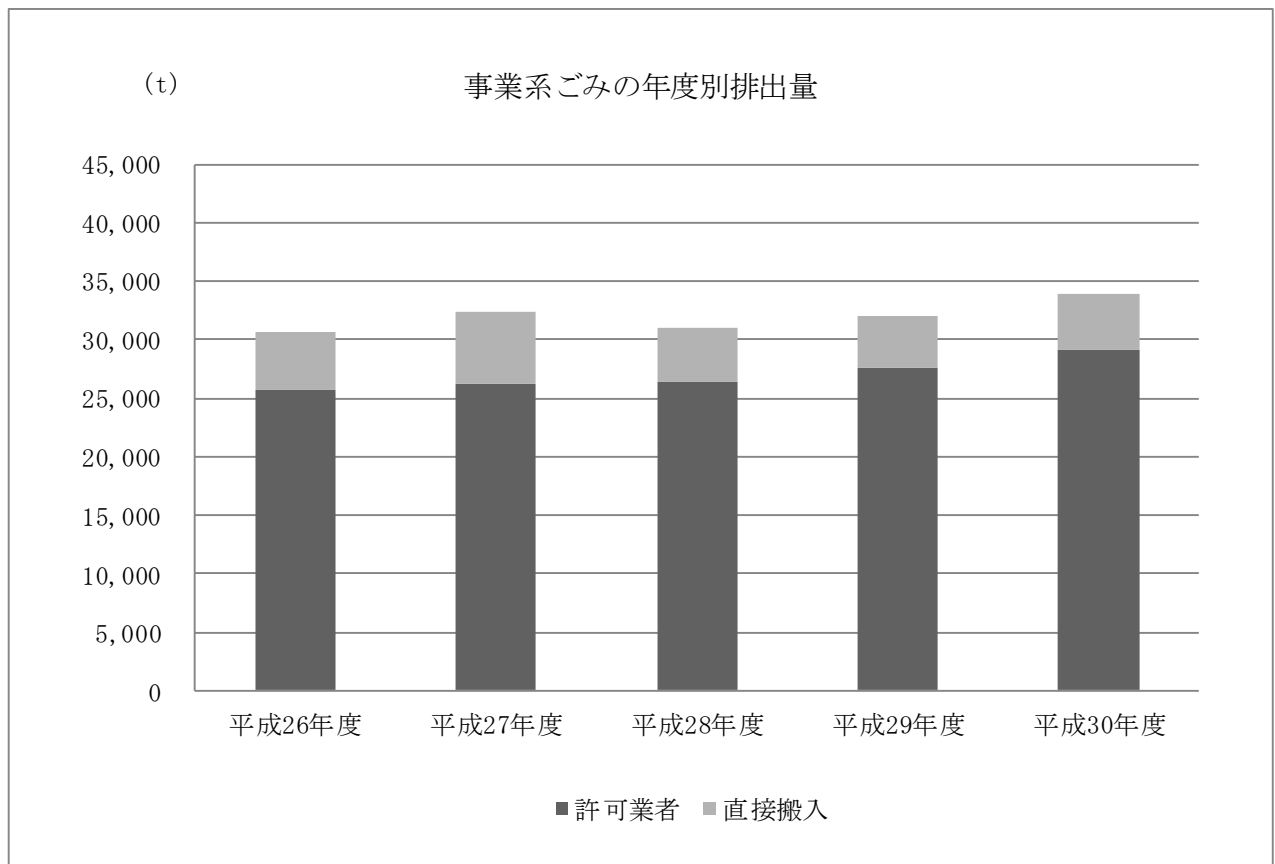
イ 事業系ごみ

事業系ごみの減量にむけ、事業所自らの減量努力と廃棄物の分別を徹底するとともに適正な処理に努め、資源の有効利用推進のため、現在の社会情勢の認識と環境問題を考慮し、事業所自ら実践をしてもらうよう指導、啓発を進めています。

事業系ごみの年度別排出量

(単位：t)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
許可業者	可燃ごみ	25,098	25,705	25,791	26,913	28,382
	ビン・カン	126	116	102	98	86
	粗大ごみ	可燃性	424	375	509	477
		不燃性(金属・セトモノ)	52	45	39	123
		合計	476	420	548	600
	許可業者総排出量	25,700	26,241	26,326	27,559	29,068
直接搬入	可燃ごみ	4,583	5,146	4,026	3,629	3,834
	ビン・カン	2	2	2	2	3
	粗大ごみ	可燃性	320	824	712	832
		不燃性(金属・セトモノ)	85	173	56	91
		合計	405	997	768	923
	直接搬入総排出量	4,990	6,145	4,755	4,399	4,760
事業系ごみ総排出量		30,690	32,386	31,081	31,958	33,828



ウ リサイクル事業

(ア) リサイクルボードの管理事業

市民の皆様のご家庭にある不用品をリサイクルする情報交換の場として、リサイクルボードを市内3ヶ所(市役所、山直市民センター、春木市民センター)に設置しています。

平成30年度の各設置場所の利用状況は下記表の通りです。

平成30年度 リサイクルボード利用状況			(単位:件)	
	ゆずります	いただきます	小計	
設置場所	申込件数	申込件数	申込件数	成立件数
市役所	13	25	38	6
山直市民センター	11	7	18	4
春木市民センター	12	27	39	10
総合計	36	59	95	20

注) 申し込み件数と成立件数が合致しないのは、掲示期間(1ヶ月)を設定している為、この期間に成立しなかった場合はボードから削除しています。

(イ) リユース品(再利用品)無償譲渡会

市民の方から提供のあった家具類、ベビー用品、日用雑貨などを展示し、公開抽選により市民の方に譲渡しました。

第1回 平成30年11月14日(水)～平成30年11月16日(金)

リユース品 228点

来場者 333名



展示場内の様子

(ウ) 家庭用生ごみ処理機器購入補助金制度

市民のごみ資源化の取組みに対する意識の高揚を図り、地球温暖化の防止並びにごみの再資源化及び減量化の推進に資することを目的として平成23年6月から実施しています。

【補助対象者】

- 1 住民基本台帳に記録があり、現にその住所に居住している方
- 2 申請時に市税を完納していること
- 3 自己の居宅又は、市が適当と認めた場所に設置し、処理機器をその用法に従い、適正に維持管理ができること
- 4 補助対象機器から生成される堆肥等の適正処理が行えること
- 5 5年以内にコンポスト・EMバケツの無償貸与を受けていないこと
- 6 当該補助金の交付を受けてから5年を経過していること

【補助対象となる家庭用生ごみ処理機器及び補助金額】

- 購入額 2,000 円未満のものは補助の対象とはなりません。
 (1世帯1台とします。ただし、EMバケツに限っては2基までとします。)
- ◎ 電源を必要とする処理機器(電動式生ごみ処理機) ※生ごみを砕いたり、焼却するものは除く
 処理機器購入費用(消費税及び地方消費税を含む)の1/2を補助、上限を20,000円とする。
 ※1,000円未満切捨て
 ※電気設備等の付帯設備に要する費用は除く
- ◎ 電源を必要としない処理器(コンポスト・EMバケツなど)
 処理機器購入費用(消費税及び地方消費税を含む)の1/2を補助、上限を3,000円とする。
 ※100円未満を切捨て

家庭用生ごみ処理機器購入補助金申請実績

	申請件数	申請金額(円)	交付件数	交付金額(円)	備考
平成26年度	26	419,000	26	419,000	
平成27年度	13	132,400	13	132,400	
平成28年度	17	181,400	17	181,400	
平成29年度	12	213,000	12	213,000	
平成30年度	17	186,000	17	186,000	

【内 訳】

	生ごみ処理器補助対象件数	電動式処理機補助対象件数	合計
	補助金額交付合計(円)	補助金額交付合計(円)	
平成26年度	5	21	26
	10,000	409,000	419,000
平成27年度	7	6	13
	14,400	118,000	132,400
平成28年度	9	8	17
	21,400	160,000	181,400
平成29年度	1	11	12
	3,000	210,000	213,000
平成30年度	6	11	17
	12,000	174,000	186,000

エ 美化活動

美化活動を実施する前に美化活動支援申込書を提出してもらい、自主的に美化活動を行っていただいております。町会または各種団体等において実施され、指定された場所に排出されたごみについては、直営で収集を行っています。

また、町会の班・組等による小規模な美化活動（ボランティア活動）によって排出されたごみについては、当該町域の普通ごみ回収の日に、家庭から排出される普通ごみと一緒に回収しています。

美化活動の申込件数と収集量

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
申込み件数(件)	695	745	708	726	701
収 集 量(kg)	239, 230	265, 260	261, 540	237, 910	253, 750
※総活動回数(回)	1, 295	1, 261	1, 146	1, 200	1, 100

※ボランティア活動含む。

オ 家電 4 品目

平成 13 年 4 月 1 日家電リサイクル法（特定家庭用機器再商品化法）が施行されました。この法律では、家電 4 品目について、小売業者による引取り及び製造業者等（製造業者、輸入業者）による再商品化等（リサイクル）が義務付けられていますが、岸和田市では法施行後から収集運搬を行っています。

平成 21 年 4 月から家電リサイクル法にテレビ（液晶・プラズマ式）及び衣類乾燥機が追加されました。

家電 4 品目の処分を市に依頼する場合、リサイクル料金を郵便局に振込み、収集運搬手数料（1 台につき 2, 000 円）は生活環境課が徴収し収集運搬しています。

年度別家電 4 品目収集運搬手数料集計

	平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
品 目	台数	費用(円)	台数	費用(円)	台数	費用(円)	台数	費用(円)	台数	費用(円)
洗濯機及び衣類乾燥機	0	0	0	0	16	32, 000	34	68, 000	38	76, 000
エアコン	0	0	0	0	0	0	3	6, 000	8	16, 000
冷蔵庫及び冷凍庫	2	4, 000	6	12, 000	24	48, 000	46	92, 000	47	94, 000
テレビ (ブラウン管式) (液晶・プラズマ式)	4	8, 000	3	6, 000	21	42, 000	31	62, 000	38	76, 000
合 計	6	12, 000	9	18, 000	61	122, 000	114	228, 000	131	262, 000

(指定引取場所 日本通運(株))

カ 不法投棄

岸和田市では、不法投棄防止対策として、岸和田市不法投棄等防止対策本部を設置し、南海岸和田駅及び JR 東岸和田駅周辺での街頭啓発、不法投棄防止及び防犯夜間パトロール、不法投棄物合同撤去等を実施しています。

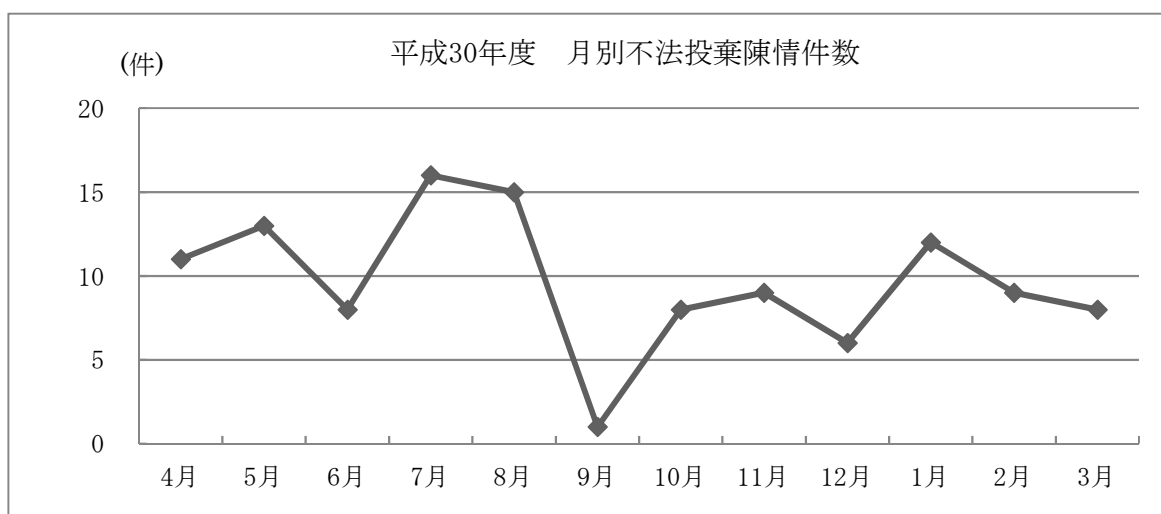
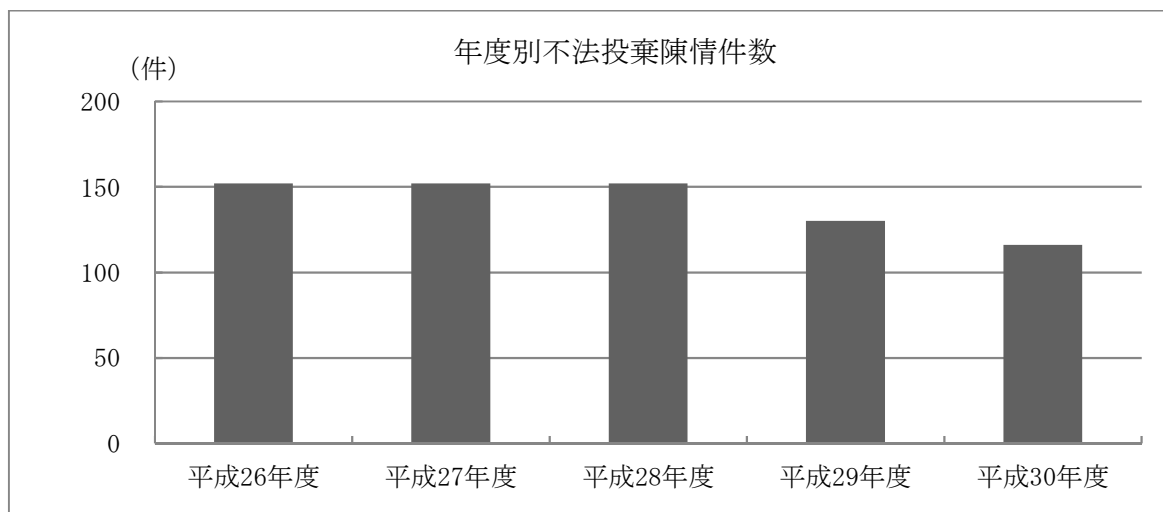
(1) 不法投棄陳情件数

年度別不法投棄陳情件数

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成26年度	13	9	17	12	10	25	15	7	15	11	10	8	152
平成27年度	14	9	15	17	16	8	18	7	14	12	10	12	152
平成28年度	18	14	7	16	10	13	18	7	19	11	7	12	152
平成29年度	12	16	15	14	10	11	12	9	6	6	6	13	130
平成30年度	11	13	8	16	15	1	8	9	6	12	9	8	116

※平成23年度までは環境保全課、平成24年度からは生活環境課に寄せられた件数
 ※その他、市の施設管理課、大阪府、岸和田警察へ直接陳情された件数は含まない。



(2) 岸和田市不法投棄等防止対策本部

ア. 概要

岸和田市不法投棄等防止対策本部は、平成 14 年度に設置された岸和田市不法投棄等防止対策連絡会が岸和田市附属機関条例の一部改正に伴い廃止となり、平成 25 年度より新たに設置されました。

イ. 実施事業

(ア) 全国ごみ不法投棄監視ウィーク

環境省では平成 19 年度から、不法投棄等を発生させない環境づくりをさらに強化していくための取組として、5 月 30 日（ごみゼロの日）から 6 月 5 日（環境の日）までを「全国ごみ不法投棄監視ウィーク」として設定し、国、都道府県等、市民等が連携して、監視活動や啓発活動を一齐に実施しています。

岸和田市では期間中に南海岸和田駅と JR 東岸和田駅周辺において、公用車による街頭啓発、及び環境省、大阪府の協力を得て啓発物品の配布等をおこなっています。

実施日：平成 30 年 5 月 30 日（水曜日） ※雨天の為中止

参加人数：南海岸和田駅 岸和田市（ 名） 環境省（ 名）

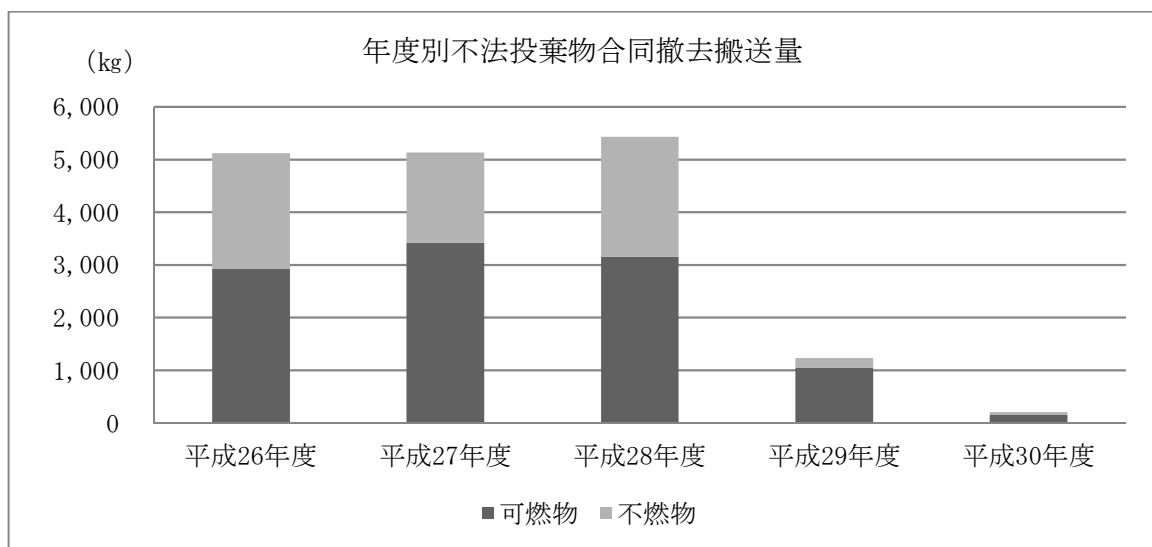
JR 東岸和田駅 岸和田市（ 名） 大阪府（ 名）

(イ) 不法投棄物合同撤去

年度別不法投棄物合同撤去搬送量 (単位：kg)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
可燃物	2,920	3,420	3,150	1,050	150
不燃物	2,200	1,710	2,280	180	50
合計	5,120	5,130	5,430	1,230	200

※家電 4 品目、タイヤ等クリーンセンター搬入不可物の重量は含まれない。



(ウ) 不法投棄防止及び防犯夜間パトロール

岸和田市全域を青色パトライト装着車（公用車）により不法投棄防止及び防犯夜間パトロールを、6月、7月、8月の各月2回実施しています。

(実施日) 平成30年6月 8日・22日

7月13日・27日

8月 3日・17日

(参加者) 庁内53部署 延べ101名

ウ. 組織

岸和田市	総務管財課、自治振興課、危機管理課、産業政策課、農林水産課、都市計画課、建設指導課、市街地整備課、丘陵地区整備課、建設管理課、高架事業・道路整備課、水とみどり課、スポーツ振興課、消防本部予防課、消防本部消防署、環境課
------	--

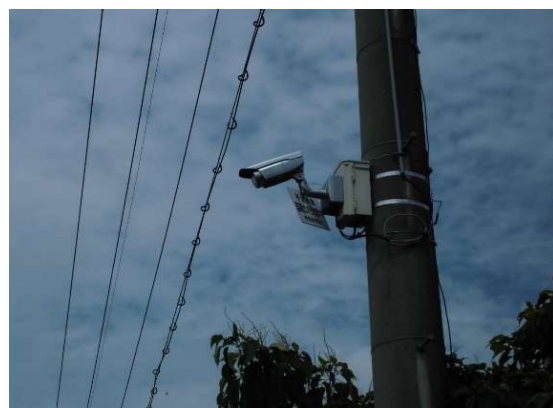
(3) 不法投棄禁止看板の配布及び、不法投棄監視カメラの設置

不法投棄防止対策の一環として町会及び、市民からの設置要望があれば不法投棄禁止看板を配布しています。

また、岸和田市内の不法投棄多発地帯、某所数ヶ所に平成16年5月より不法投棄監視カメラを設置し24時間監視しています。



【不法投棄禁止看板】



【不法投棄監視カメラ】

キ 胞衣・汚物収集運搬

胞衣・汚物収集件数

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
胞衣 (個)	600	785	752	723	733
汚物 (個)	74	43	56	62	56

死獣持込受付件数 (ペット扱い)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
犬 (匹)	948	1,000	1,027	947	907
猫 (匹)	632	623	617	643	659
うさぎ (羽)	59	65	75	77	61
鳥類 (羽)	27	34	36	40	22
ネズミ類 (匹)	41	39	40	55	7
その他	147	56	53	50	108
合 計	1,854	1,817	1,848	1,812	1,764

※ペットについては一体につき手数料 1,000 円必要です。

死獣収集件数 (飼主不明)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
犬 (匹)	14	9	8	4	6
猫 (匹)	1,062	1,047	1,015	1,098	1,015
たぬき (匹)	17	32	28	34	38
鳥類 (羽)	291	372	415	413	371
いたち科 (匹)	29	36	54	33	53
その他	37	38	59	87	73
合 計	1,450	1,534	1,579	1,669	1,556

※飼主不明の場合、手数料は必要ありません。

ク 一般廃棄物（し尿）処理事業

（ア）概要

し尿くみ取りは、昭和 27 年に市の指定業者として 1 業者が市域の一部、昭和 30 年に許可制となり、5 業者が市内一円のくみ取りを始め、昭和 42 年に 3 業者を新たに許可し、地域指定としました。

助成については、1 人当たり 1 ヶ月 200 円負担していましたが、平成 20 年 6 月からは、公共下水道等が整備され供用開始から 3 年経過しているくみ取り世帯への助成は、廃止となっています。

※公共下水道等には、特定環境保全公共下水道、農業集落排水施設を含む。

し尿くみ取り手数料

人数制	普通便所	1 人につき 1 ヶ月 435 円
	無臭便所	上記に 1 槽 1 ヶ月 360 円加算
	簡易水洗便所	1 人につき 1 ヶ月 700 円
従量制	一般家庭で便所が 2 ヶ所以上あり、主たる便所 1 ヶ所を除く他の便所	10ℓにつき 70 円
	臨時に申し込みがあったもの	10ℓにつき 90 円+2,000 円
	商店、事業所等	10ℓにつき 105 円

※し尿くみ取り手数料は、上記の表により算出した額に消費税 8 % を乗じる

し尿くみ取り・浄化槽清掃業許可業者

事 業 所 名	電 話 番 号	所 在 地
(株)両国設備	072-439-6000	上町 23-8
(株)坂井設備工業所	072-438-4723	下野町 5-14-16
阪南設備工業(株)	072-422-0568	木材町 9-9
岸和田設備工業(株)	072-423-0062	並松町 8-17
(有)出口設備工業所	072-444-8761	箕土路町 2-17-4
(有)久米田設備	072-445-9184	小松里町 1128-1
(株)山本設備	072-445-2062	三田町 209-1
(株)大八清掃社	072-422-4583	南上町 2-23-23

※浄化槽清掃業については、地域別業者指定はありません。

(イ) し尿の収集運搬、処理

し尿及び浄化槽汚泥については許可業者で収集運搬します。

し尿処理場（天の川浄苑）の運転は昭和 35 年から始まりました。

し尿排出量の実績と推移 (単位：kℓ)

	し 尿	浄化槽汚泥	合 計
平成 26 年度	19,540	5,890	25,430
平成 27 年度	18,608	5,735	24,343
平成 28 年度	17,533	6,086	23,619
平成 29 年度	16,958	6,124	23,082
平成 30 年度	16,377	6,096	22,473

し尿処理の状況

	くみ取り人口 (3月末現在)	くみ取り世帯数 (3月末現在)	岸和田市人口 (3月末現在)
平成 26 年度	11,610	5,578	199,753
平成 27 年度	11,115	5,430	199,021
平成 28 年度	10,286	5,065	197,629
平成 29 年度	9,942	4,948	196,331
平成 30 年度	6,614	3,258	194,952

(ウ) 天の川浄苑におけるし尿及び浄化槽汚泥処理工程



(3) ごみの分別及び資源化
ア ごみの分別収集・回収状況

	形 態	種 別	回収品目等	排 出 等	収集回収等
1	普通ごみ	可燃性ごみ	野菜くず、魚のあら、ティッシュ等、細かい紙くずなど一般家庭から出る「燃やせるごみ」	ステーション (指定曜日) 有料指定袋(10ℓ、20ℓ、30ℓ、45ℓ)を使用し排出	週2回 (祝日も収集)
2	空きビン 空きカン ペットボトル	空きビン 空きカン ペットボトル	飲料用等の空きビン・空きカン ペットボトル	ステーション (指定曜日)	週1回 (祝日も収集)
3	プラスチック製 容器包装	プラスチック製 容器包装	プラスチック製容器包装	ステーション (指定曜日)	週1回 (祝日も収集)
4	粗大ごみ	可燃性粗大ごみ 不燃性粗大ごみ	電化製品(家電4品目及びパソコンを除く)、家具類、ストーブなど、一般家庭から出る「大型ごみ」	電話で申込・各戸収集 粗大ごみ処理券(500円) を指定された金額分貼付し排出	随時
5	埋立ごみ	埋立ごみ	陶器類・電球・化粧品等のビン	町会館・集会所等	2ヶ月に1回 (奇数月・偶数月)
6	小さな金属類	不燃性粗大ごみ	なべ・やかん・フライパン・傘他、長さ25cm以下の金属類(電化製品は除く)	町会館・集会所等	2ヶ月に1回 (奇数月・偶数月)
7	廃蛍光管	廃蛍光管	破損してない物	町会館・集会所等	2ヶ月に1回 (奇数月・偶数月)
8	紙パック	紙パック	牛乳・ジュース等の紙パック (内側がアルミ加工されていない紙パック)	拠点回収 (排出は随時)	
9	廃乾電池	廃乾電池	廃乾電池	拠点回収 (排出は随時)	
10	ペットボトル	ペットボトル	ペットボトル	拠点回収 (店頭回収、排出は随時) ステーション (指定曜日)	週1回 (祝日も収集)
11	廃食用油	廃食用油	廃食用油	拠点回収 (年2回指定する日) ※一部常設	年2回
12	集団回収	古紙	※ダンボール等と(1)新聞 (2)雑誌 (3)古布 ※古布については回収していない団体もあります。	各地域の実施団体で指定されている日、場所	各地域の実施団体
		白色の発泡スチロール製食品トレイ	白色の 発泡スチロール製食品トレイ	(各流通販売店) 各流通販売店で引き続き回収を推進してもらう。	各流通販売店、 自主回収の推進

収集形態 12 形態 13 種分別

イ 資源物の行き先

	品名		排出方法	回収方法	集積場所	行先	再資源化 (リサイクル)
2	空き カン	アルミ	ステーション	市直営 委託業者	岸和田市貝塚市 クリーンセンター	大栄環境(株) 西川商工(株)	アルミ製品、 鉄製品に再生化
		スチール				西川商工(株)	
	空き ビン	酒 ビール	業者引き取り等	⇒	⇒	酒、ビール 関係メーカー	酒、ビール用の ビンに再利用
		その他の ビン類	ステーション	市直営 委託業者	岸和田市貝塚市 クリーンセンター	(財)日本容器包装 リサイクル協会 (株)タカハシ	ビンに再生化 タイル、ブロック 等の原料に再利用
3	プラスチック製 容器包装		ステーション	市直営 委託業者	関西リサイクル 環境事業 協同組合	(株)大東衛生	再生樹脂や建築・園 芸用資材、擬木等の プラスチック製品に 再生化
4	粗大 ごみ (金属)	アルミ	申込制 各戸回収	市直営	岸和田市貝塚市 クリーンセンター	安田金属興業(株) 貝塚工場	アルミ製品、 鉄製品に再生化
		スチール				安田金属興業(株) 貝塚工場	
		その他				西川商工(株) (有)福商リサイクル	
6	小さな 金属類	アルミ	町会館、集会所等で回収			安田金属興業(株) 貝塚工場	
		スチール				安田金属興業(株) 貝塚工場	
7	廃蛍光管 (破損してない物)		町会館、集会所等で回収	市直営	岸和田市貝塚市 クリーンセンター	野村興産(株)	ガラス、水銀等に 再利用
8	紙パック類 (洗う、開く、乾かす)		量販店・公共施設 (24ヶ所)	委託業者	環境課	王子製紙(株)	ティッシュペーパー、 トイレットペーパー 等に再生化
9	廃乾電池		回収 BOX 設置 (150ヶ所)	市直営	岸和田市貝塚市 クリーンセンター	JFE 条鋼(株)	溶融処理後、鉄鋼製品 等に再利用
10	ペットボトル (洗う、乾かす、 キャップを取る、 ラベルをはがす)		量販店・公共施設に 回収 BOX 設置(24ヶ所) ステーション	市直営 市直営 委託業者	岸和田市貝塚市 クリーンセンター	(財)日本容器包装 リサイクル協会 ウツミリサイクル(株)	卵、フルーツ等の 食品容器に再製品化
11	廃食用油		各町会、自治会毎に 日時、場所を定め実施	委託業者	環境課 リマテック(株)	リマテック(株)	セメント製造時の 補助燃料に再利用
12	ダンボール 新聞 雑誌類 布類		<u>集団回収</u> 町会、子供会、婦人会、 老人会等の団体が 日時、場所を定め実施 (199 団体)	再生資源 回収業者	⇒ ⇒ ⇒ ⇒	再生加工業者 (工場)	再生紙、新聞紙、 トイレットペーパー 等に再製品化
	トレー (洗う、乾かす)		販売店 回収 BOX 設置	販売店	販売店	再生加工業者 (工場)	再製品化

(4) 年度による対比

(単位:kg)

区分/年度			平成28年度	平成29年度	平成30年度	比較(28・29)		比較(29・30)	
一般家庭ごみ	a	1. 普通ごみ	29,069,890	28,712,330	30,436,420	△ 357,560	-1.23%	1,724,090	5.66%
		ア 直営	2,453,590	2,510,390	4,381,350	56,800	2.31%	1,870,960	42.70%
		イ 直営(美化等)	287,020	275,340	278,580	△ 11,680	-4.07%	3,240	1.16%
		ウ 委託	26,329,280	25,926,600	25,776,490	△ 402,680	-1.53%	△ 150,110	-0.58%
	b	2. 空きビン・カン・ペットボトル	2,132,710	2,104,770	2,087,490	△ 27,940	-1.31%	△ 17,280	-0.83%
		ア 直営	166,510	166,300	165,760	△ 210	-0.13%	△ 540	-0.33%
		イ 直営(美化等)	3,860	4,110	4,410	250	6.48%	300	6.80%
		ウ 委託	1,962,340	1,934,360	1,917,320	△ 27,980	-1.43%	△ 17,040	-0.89%
		3. プラスチック製容器包装	2,646,270	2,604,690	2,614,170	△ 41,580	-1.57%	9,480	0.36%
		ア 直営	218,620	217,720	211,040	△ 900	-0.41%	△ 6,680	-3.17%
		イ 委託	2,427,650	2,386,970	2,403,130	△ 40,680	-1.68%	16,160	0.67%
		4. ペットボトル (直営)	31,640	29,120	28,900	△ 2,520	-7.96%	△ 220	-0.76%
		ア 直営	31,640	29,120	28,900	△ 2,520	-7.96%	△ 220	-0.76%
		イ 委託	-	-	-	-	-	-	-
		5. 紙パック (委託)	7,540	6,920	5,240	△ 620	-8.22%	△ 1,680	-32.06%
		6. 廃食用油 (委託)	13,220	12,590	13,620	△ 630	-4.77%	1,030	7.56%
	c	7. 粗大ごみ	336,060	421,580	824,460	85,520	25.45%	402,880	48.87%
		ア 直営・委託(可燃性)	226,170	300,840	512,060	74,670	33.01%	211,220	41.25%
		イ 直営・委託(金属)	109,890	120,740	312,400	10,850	9.87%	191,660	61.35%
	d	8. 埋立ごみ (直営)	166,650	166,710	328,990	60	0.04%	162,280	49.33%
		9. 小さな金属 (直営)	34,940	34,270	39,910	△ 670	-1.92%	5,640	14.13%
	e	10. 廃蛍光管 (直営)	8,590	8,100	8,430	△ 490	-5.70%	330	3.91%
		11. 廃乾電池 (直営)	20,010	19,010	22,060	△ 1,000	-5.00%	3,050	13.83%
	f	12. 直接搬入量	1,660,390	1,767,070	2,446,870	106,680	6.42%	679,800	27.78%
	g	13. 集団回収(新聞・雑誌・ダンボール等)	5,802,695	5,551,769	5,192,253	△ 250,926	-4.32%	△ 359,516	-6.92%
	A. 家庭ごみ 計(1+2+3+4+5+6+7+8+9+10+11+12+13)		41,930,605	41,438,929	44,048,813	△ 491,676	-1.17%	2,609,884	5.92%
	比 率(A÷17)		57.43%	56.46%	56.56%				
事業系ごみ	14. 許可業者搬入量		26,325,450	27,559,590	29,067,800	1,234,140	4.69%	1,508,210	5.19%
	a	ア 可燃ごみ	25,790,990	26,913,290	28,381,660	1,122,300	4.35%	1,468,370	5.17%
	b	イ ビン・カン	101,600	98,110	86,440	△ 3,490	-3.44%	△ 11,670	-13.50%
	c	ウ 粗大ごみ	432,860	548,190	599,700	115,330	26.64%	51,510	8.59%
	f	15. 直接搬入量	4,755,300	4,399,040	4,759,830	△ 356,260	-7.49%	360,790	7.58%
	B. 事業系 計(14+15)		31,080,750	31,958,630	33,827,630	877,880	2.82%	1,869,000	5.53%
	比 率(B÷17)		42.57%	43.54%	43.44%				
16. 清掃工場搬入量			64,541,630	65,221,590	70,051,160	679,960	1.05%	4,829,570	6.89%
17. 総排出量			73,011,355	73,397,559	77,876,443	386,204	0.53%	4,478,884	5.75%
18. 岸和田市の人口(人)			198,261	197,142	195,639	△ 1,119	-0.56%	△ 1,503	-0.77%
19. 岸和田市の世帯数(世帯)			86,316	86,787	87,093	471	0.55%	306	0.35%

a 可燃ごみ b 資源ごみ c 粗大ごみ d 不燃ごみ e その他ごみ f 直接搬入ごみ g 集団回収

※空きビン・空きカンは、平成 27 年度よりペットボトルも混合収集

4 害虫駆除

(1) 害虫駆除薬散布器材の貸出

毎年、5月～7月にかけて、申請のあった町内会及び各種団体に、実施に伴う薬剤及び、器材の貸出し、害虫駆除が行われています。

害虫駆除薬散布器材申込件数					(単位：件)
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
申込総数	92	98	95	96	91

- ・貸出器材 希釈用桶 (100ℓ) ・じょうろ・ひしゃく・じょうご・計量カップ
- ・貸出薬剤 レナトップ (乳剤・医薬部外品)

(2) 害虫駆除の問い合わせ

公共施設、公園、側溝、水路などへの衛生害虫、樹木害虫、不快害虫を対象にした駆除等の相談を行っています。(駆除業者の紹介)

害虫駆除問い合わせ件数					(単位：件)
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
年間件数	62	42	37	48	31
種 類 別 内 訳					
蚊、ユスリカ	6	3	3	4	3
毛 虫	0	0	0	0	0
セアカゴケグモ	50	36	32	39	30
ヤスデ	0	0	0	0	0
その他	6	3	2	5	1
合 計	62	42	37	48	31

(3) ゴキブリ・ねずみ駆除薬配布

例年、ゴキブリ・ねずみ・駆除強調月間として市広報掲載にて、ゴキブリ駆除は6月に、ねずみ駆除は2月に駆除薬を、サンプル的に配布を行っています。

駆除薬配布以外に5月～7月にかけて各団体(町会、自治会、市青協等)が害虫駆除薬剤散布も行っています。

駆除薬配布件数					(単位：件)
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
ゴキブリ駆除薬	317	391	291	265	301
ねずみ駆除薬	71	40	54	43	40

5 環境教育の推進

(1) 環境フェア

平成4年に、市制施行70周年記念事業の一環としてリサイクルフェアを開催したのが始まりで、以後も環境フェアとして毎年11月上旬に実施してきました。

平成14年からは、産業フェアと同時開催することで大勢の市民の方が来場され、より一層環境に対しての関心も深まってきていると考えています。

平成22年からは、環境月間である6月にあわせて、本市の公民協働による環境まちづくりを推進するため、多様な事業主体による一体的かつ集中的な協働の取組みとして、環境フェアを開催しています。平成30年度は、約3,800名の来場がありました。

平成30年度実施内容

名 称	「きしわだ環境フェア2018」
開催日	平成30年6月3日（日）午前10時から午後3時30分
開催場所	ラパーク岸和田

実施事業

展示：家庭用生ごみ処理機器購入補助制度、きれいなまちづくり条例（環境課）、川のいきもの、省エネの取組、生物多様性について（環境課）、公園の樹木、温暖化補助金、大阪湾かるた（大阪湾環境保全協議会）、不用品リサイクル（廃食用油で石けん作り）（岸和田市消費生活研究会）、岸和田の自然（きしわだ自然友の会）、池の野鳥（久米田池愛鳥会）、里山づくり（神於山保全くらぶ）

体験：お魚タッチプール（岸和田市漁業協同組合）、竹クラフト、木の枝でエンピツづくり、うちエコ診断

(2) 岸和田・貝塚3Rふれあいフェア

岸和田市、貝塚市、岸和田市貝塚市クリーンセンターの合同イベントとして、平成30年7月6日（日）に「岸和田・貝塚3Rふれあいフェア」の開催を予定していましたが、荒天の為、中止となりました。

(3) 出前講座

岸和田市のごみの現状やごみの分別、3Rの推進運動などのテーマで出前講座を開催しています。主な出前講座は、生涯学習課に登録している内容で、各種団体（教育学級、高齢者大学等）の依頼を受け、講師を派遣しています。

その他、小中学校からは総合学習の依頼での出前講座も行っています。

平成 30 年度 活動内容

日付	団体	参加人数	講座内容	場所
平成 30 年 5 月 25 日	市立修斉小学校	46	ごみの分別と収集について	市立修斉小学校
平成 30 年 7 月 12 日	市立大宮小学校	98	ごみの分別と収集について	市立大宮小学校
平成 31 年 2 月 12 日	岸和田女性会議	10	ごみの分別について	女性センター

6 市民の環境活動等

(1) まちを美しくする市民運動推進協議会

ア 団体の概要

まちを美しくする市民運動推進協議会は、昭和 53 年 6 月に市民及び各種市民団体による、自主的かつ積極的な生活環境の浄化のための運動を推進することを目的として結成されました。

イ 活動の状況

美化啓発、青少年育成、緑化推進の 3 部会において、自主的に各部会の目的にそって市民ぐるみの運動を実施しています。

ウ 実施事業

(ア) 標語・ポスターの募集、審査、展示、表彰

平成 30 年 8 月 1 日 ～ 8 月 31 日 -- ○募集 応募総数 598 点

平成 30 年 11 月 15 日 ～ 11 月 21 日 -- ○展示 ラパーク岸和田 1 階

入選作品 (標語 20 点、ポスター 40 点)

平成 30 年 12 月 2 日 ----- ○表彰 標語・ポスター入選者と善行者

標語入選者 20 名 (188 点中)

ポスター入選者 40 名 (410 点中)

善行者 個人 7 名

平成 30 年 12 月 7 日 ～ 12 月 13 日 -- ○展示 岸和田市役所 本庁玄関前

入選作品 (標語 20 点、ポスター 40 点)

(イ) 美化・青少年育成・緑化推進運動

平成 30 年 8 月 25 日 ～ 10 月 7 日 -- ○美化・青少年育成・緑化推進運動実施
強調期間

○公共の施設及び電柱等に掲示した違法
広告物、看板の除却活動及び清掃活動

○道路・公園等の清掃運動

平成 30 年度実施町会及び団体数

町会等団体 (期間中 104、期間外 597)

(ウ) きれいな岸和田大作戦

平成 30 年 8 月 25 日 -- ○本協議会と国道 26 号以西の各町会の協力を得て南海線
各駅周辺の主要道路と各町会区域で清掃活動
(参加人数 507 人)

平成 30 年 9 月 22 日 -- ○本協議会と国道 26 号以东の各町会の協力を得て JR 阪和
線各駅周辺の主要道路と各町会区域で清掃活動
(台風 21 号による災害ごみ処理対応のため中止)

エ 他団体主催事業への参画・支援

清掃活動

平成 30 年 6 月 24 日 ----- ○港湾周辺地域 (雨天のため中止)

平成 30 年 9 月 9 日 ----- ○岸和田高校付近

平成 30 年 10 月 28 日 ----- ○春木川・轟川・津田川 (雨天のため中止)

平成 30 年 11 月 11 日 ----- ○久米田池周辺

平成 31 年 2 月 10 日 ----- ○久米田池堤周辺

平成 31 年 3 月 10 日 ----- ○春木川・轟川・津田川

まちを美しくする市民運動推進協議会（参加団体）

岸和田市町会連合会	岸和田防犯協議会
岸和田市青少年指導員協議会	岸和田貝塚小売酒販組合
岸和田市青年団協議会	大阪国道事所南大阪維持出張所
岸和田市PTA協議会	岸和田市小・中学校生活指導研究協議会
岸和田市こども会育成連絡協議会	大阪トヨペット株式会社U-Carランド岸和田店
岸和田少年補導協助手連絡会	岸和田自転車軽自動車組合
岸和田商店街連合会	岸和田港振興協会
岸和田ボーイスカウト育成会	いずみの農業協同組合
ガールスカウト大阪府連盟第78団	岸和田市林業活性化協議会
岸和田ライオンズクラブ	岸和田商工会議所
岸和田中央ライオンズクラブ	公益社団法人岸和田青年会議所
岸和田千亀利ライオンズクラブ	大阪府泉州農と緑の総合事務所
岸和田シニアライオンズクラブ	岸和田造園緑化協同組合
岸和田コスモスライオンズクラブ	一般財団法人岸和田市公園緑化協会
岸和田東ロータリークラブ	大阪府岸和田土木事務所
岸和田南ロータリークラブ	大阪府岸和田保健所
岸和田ロータリークラブ	大阪府岸和田警察署
岸和田女性会議	岸和田市

(2) 岸和田市廃棄物減量等推進員

ア 団体の概要

廃棄物減量等推進員制度は、平成6年「岸和田市廃棄物の減量化及び適正処理に関する条例」及び「岸和田市廃棄物減量等推進員設置要綱」に基づき地域のリーダー的役割を果たし、市民と市のパイプ役を担っていただくために設置しました。

イ 平成30年度 推進員構成

各町会（自治会）推薦	348名
公募	0名
総数	348名

ウ 主な活動

1. 地域におけるごみの減量化、リサイクルの推進並びにごみの適正な排出等の指導啓発に関すること。
 - (1) 地域内のごみの減量と家庭ごみの分別指導。
 - (2) 有価物集団回収の指導及び協力の呼びかけ。
 - (3) コンポスト等の生ごみ堆肥化の普及と指導。
 - (4) 廃食用油回収の指導及び、協力の呼びかけ。
 - (5) 埋立てごみ、小さな金属類の分別指導。
 - (6) 再生品（トイレットペーパー等）の購入の呼びかけ。
2. ごみの不法投棄防止のための市への協力等に関すること
 - (1) 地域内の不法投棄について市と連絡を密にして防止対策等への協力。
3. ごみの収集、処理等に関する意見及び情報の提供に関すること。
4. その他
 - (1) 地区別研修会 平成30年7月13日（金）～平成30年7月27日（金）
10地区開催 参加者 143名
 - (2) ごみ処理関連施設視察研修会 平成31年2月5日（火）参加者 18名
【視察先】 ◆パナソニックエコテクノロジーセンター(株)
兵庫県加東市

(3) 違法屋外広告物追放登録員

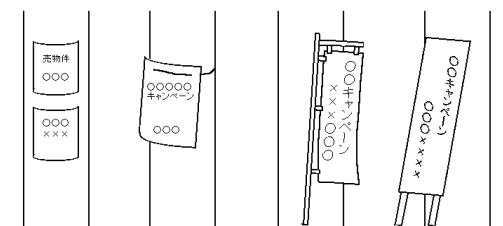
ア 団体の概要

この制度は、屋外広告物法第7条第4項ただし書き並びに大阪府屋外広告物条例第26条に基づく市長の権限の一部を、市長が認定した「岸和田市違法屋外広告物追放登録員」に委任することで、住民と市が一体となり地域の美観を維持するとともに、違法屋外広告物追放の啓発推進をまちぐるみで取り組むことを目的としています。

イ 登録員が除却できる看板類

除却できるものは、法で定めるはり紙、はり札等・広告旗・立看板等（これらを支える台を含む）で道路上の禁止物件（街路樹・電柱・道路標識・ガードレール等）に掲出されたもの。

イラストイメージ



ウ 平成30年度 登録団体数及び登録員数

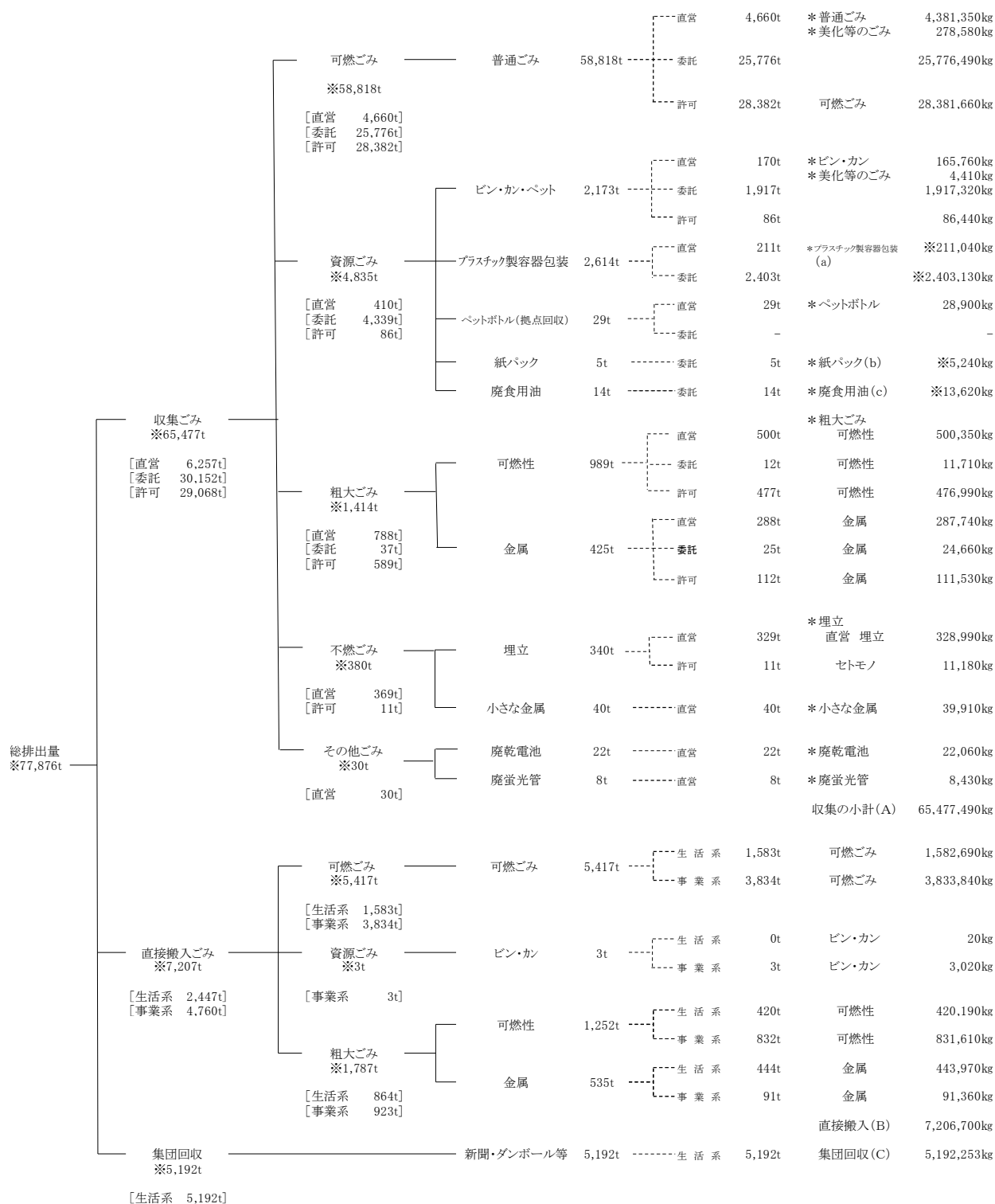
登録団体	登録員
15 団体	714 人

エ 平成30年度 広告物除却活動実施状況

	広告物除去数 (枚)				実施回数	参加人数
	はり札 はり紙	立看板	広告旗	合計		
登録団体	20	-	-	20	17	96
関西電力広告部	301	4	-	305	18	54
環境課	40	-	1	41	10	20
合 計	361	4	1	366	45	170

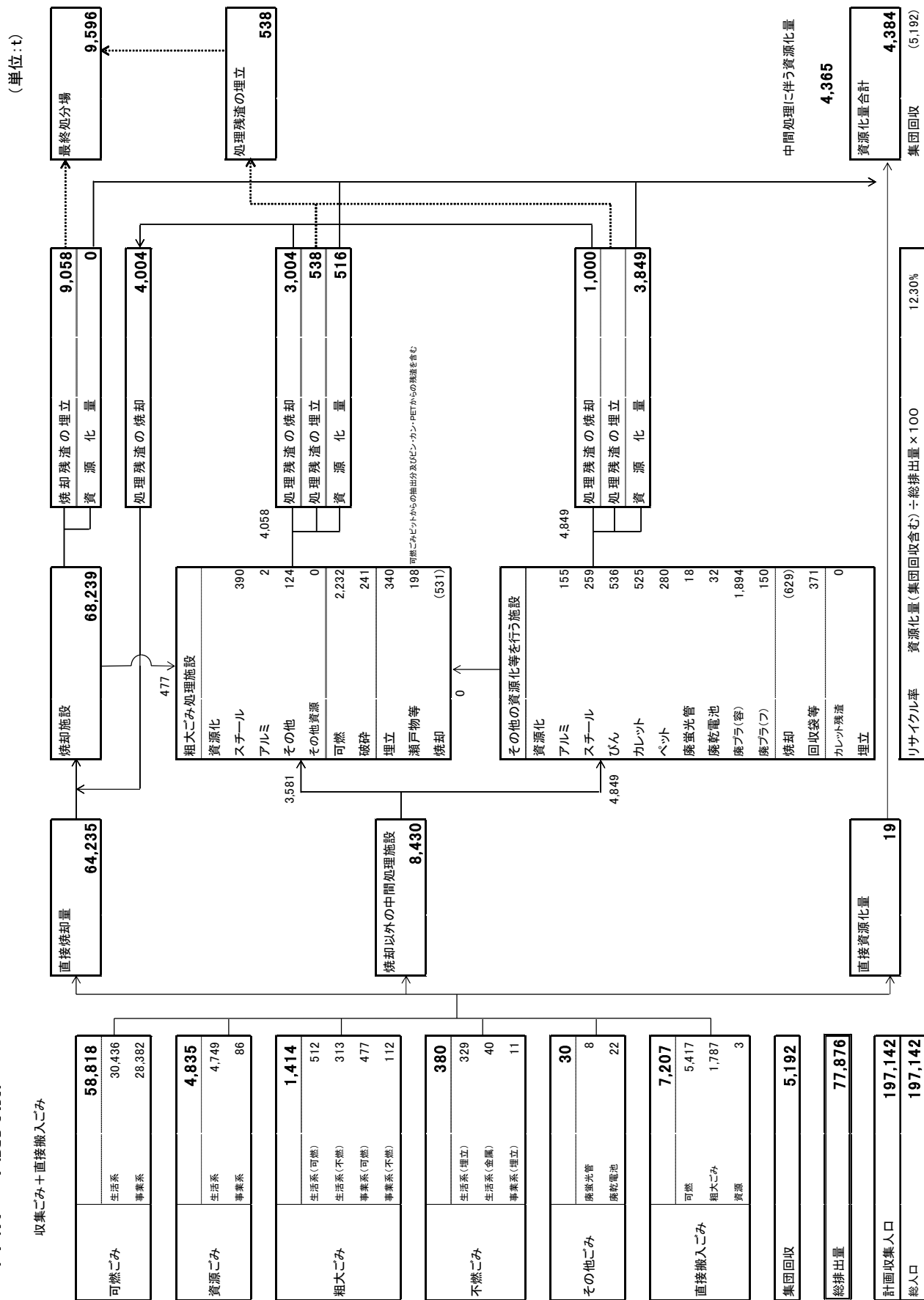
7 その他資料

ごみの流れ



※直 営	6,257t
※委 託	30,152t
※許 可	29,068t
※直接搬入 生活系	2,447t
※直接搬入 事業系	4,760t
※集団回収	5,192t
合 計	77,876t

岸和田市のごみ処理フローシート
(平成30年度実績)



Memo